京城日報
六日夕刊
本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金五十五錢
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
京城太平通一丁目
發行所　合資會社京城日報社

◎支那人露軍人を銃殺す　或は重大なる問題たらん

露國軍人及び露國獸醫は軍馬購入の目的にて滿洲に派遣せられ二日開原にて馬匹檢査を爲し居る際多數の支那人襲擊し來り露兵は銃丸に斃れ露國獸醫は腰部に貫通銃創を受けたり右の報告に接せる露國公使館は當時の情况を詳記したる文書を附し滿洲に於ける外人保護の不完全特に軍人に對して爲せる暴行に對し強硬なる交渉を開始せり支那當局は直ちに地方官に打電し實際の調査を爲さしむる事とせり事態如何に依りては容易ならざる問題となるべし(北京特電)

◎徐北上督促と回答

黎總統の北上督促に對し徐世昌氏は明確に内閣組織の條件を附し回答せりと(北京電報)

◎大統領選擧運動終了　ヒューズ氏勝味か

米國大統領選擧運動は四日開會の共和民主兩黨の示威的大會にて終了を告げ兩黨共に勝利を主張しつゝあるも共和黨候補者ヒューズ氏に勝味ありと觀測せらる(紐育電報)

◎獨皇太子伯林に歸る　參謀總長と意見衝突か

ヴェルダン攻擊軍司令官たる獨逸皇太子は伯林に歸還せり參謀總長ヒンデンブルグ元帥と意見の衝突せる爲めなりとの說あり(巴里電報)

◎オードロモン奪還近し

ヴォー砲臺を占領せる佛軍は新戰線に依りてヴォーモン砲臺の外面なるオードロモンに對し更に強烈なる襲擊を繼續せるが故に之が奪還は目睫の間にあるべし(巴里電報)

◎本野大使別宴　コ伯の日露提携論

露都來電によれば本野大使の送別宴開催の席上ココフツオフ伯は日露提携を論じて本野大使に讃辭を呈せりと(哈爾賓電報)

◎李堈公御歸鮮

立太子禮參列の爲め御滯京中の李堈公殿下には九日東京驛御出發途中京都に下車桃山御陵に御參拜の上十三日京城歸著の御豫定にして御滯京中各宮家を始め宮内省高等官等御旅舘帝國ホテル御訪問頗る優遇を受けさせられたり(東京電報)

◎政務總監訓示

山縣政務總監は遠藤秘書官を從へ六日午前九時永樂町研究會に赴き道府郡島書記講習會開會式に臨席一場の訓示ありたり

◎領事團歷訪

秋山博士は外事課長の資格を以て前外事課長小松綠氏と共に六日午前十時より在京城各國總領事舘を歷訪し新任及び退任の挨拶を爲せり

◎小原長官登廳

五日夜著任せる小原農商工部長官は六日午前八時山縣政務總監を官邸に訪問就任の挨拶を述べ其れより登廳府内各部局を巡りて挨拶を爲し午前十一時更に部下一同を長官室に招きて著任の挨拶に兼ね一場の訓示を爲せり

◎長官事務引繼

忠淸南道長官上林敬次郞氏は六日午前十一時總督府に赴き晝食後小原長官に對し豫て取扱ひ居たる農商工部長官事務の引き繼ぎを爲したり

◎兒玉伯入京期

内閣書記官長兒玉秀雄伯は八日東京出發渡鮮の途に就く旨總督府に電報あり入京期は多分十日夜なる可きが滯京期は三日間の豫定にて事務引繼ぎ家事の整理等極めて多忙なれば歡迎會の如きは見合はされたき希望の由なるも京龍間の有志は是非とも一夕招待す可しといへば官民合同の歡迎會は開催の運に至る可し

◎書記講習會

總督府にては既記の如く六日午前九時より永樂町研究會内に於て道府郡島書記講習會を開催せり出席者は八十六名にして山縣政務總監より一場の訓示ありたる後直に講習に入り午後四時散會したり講習期間は十日迄六日間にして講習科目は地方行政事務なり

◎軍司令官出發

秋山軍司令官は既報の如く大演習陪觀並に軍事に關し上奏の爲六日午前八時四十分龍山發列車にて竹内中佐を隨へ出發したるが司令官は途中大邱に下車同地駐在部隊を巡視し同地に一泊の上七日午後四時十分大邱發列車にて別項立花第十九師團長一行と共に福岡に向け出發すべしと

◎立花師團長出發期

立花第十九師團長は陸軍特別大演習陪觀の爲め小出中佐を隨へ七日午前八時四十分龍山發列車にて福岡に向ふべしと

◎古海總長出發期

古海警務總長は九州大演習陪觀の爲太田副官を從へ七日午前八時半南大門驛出發の筈

◎京畿幹部會議

一般事務の聯絡及び其他に關し京畿道廳幹部並に警務部幹部は六日午前十時松永長官室に會同し打合を爲す所ありたり

◎石塚總裁の招宴

東洋拓殖會社にては總裁以下各理事辭任聽許されしにつき石塚新總裁は七日正午朝鮮ホテルに於て前重役の爲めに送別の宴を催し主なる社員四十餘名も陪席する由

◎東拓幹部告別

東洋拓殖會社の吉原總裁野田副總裁以下は曩に辭任を聽許せられ林、井上、村田、韓相龍各理事の辭任も亦四日附聽許されしにつき六日午前十時より會社貴賓室に於て告別の式を行ひ石塚新總裁以下全社員列席の上林理事は吉原前總裁病氣缺席の爲め辭任者一同を代表して告別の挨拶を爲し足立技師も亦社員を代表して送辭を述べ同三十分終了せり因に各理事の出發は十日過ぎなるべしと

◎山田氏家族引揚

朝鮮銀行庶務局長山田松熊氏は東京滯在中二豎に犯され久しく入院加療中なるが最近同氏夫人東上其の病床を見舞ひたるに容態良好ならず全癒までには少くとも半年以上の靜養を要す可しとのことにて當分歸任の見込なきより夫人は一旦歸京し家族を纏めて一兩日中に東上看護すること、なれりと

北朝鮮へ（第五信）

西湖生

□海上の立太子禮奉賀　三日全羅丸にて

▲二日夜半、小生の便乘せる全羅丸は元山港を出帆仕り候、埠頭より客船に乘りて本船に赴く、時恰も月長德山に陰らんとし、市中數千の灯光の瞬たき懷しく振り返られ候、前日迄の風浪一過、淀みたる海上は油の如く穩やかにて、檣頭の外に聞ゆ、船中切りにアラランを歌ふ鮮人あり、其の哀愁を含める聲調は數日の船路の旅を續けんとする小生に徐ろ旅愁を湧き起さしめ候

▲全羅丸は總噸數約一千噸、大正三年十一月の新造に係り、朝鮮郵船所有船中五指の中に屈せらるゝ汽船に候、此の夜兩三日來の風浪にて定期出帆遲延しゐたる爲め大阪商船の宮島丸、朝鮮郵船鏡城丸の兩船と相前後して拔錨、北行する雜貨物は例により船腹に滿載致し、從つて乘客も分割されて少數也、居り候、同船一等客に元山合資會社丸吉廻漕部代表社員安座上氏の一行あり、幸ひに氏は同縣出身の舊知とて常に歡談を交し候

▲三日早曉、船は西湖津に入港、喧ましき汽笛の音に夢を破られ候

西湖津は咸南道政の中心地咸興の表玄關也、本港に上陸して約四里咸興まで輕便鐵道を通ず、七時起床甲板より人家を望めば數棟のトタン屋根の建物と鮮屋交互に並べるを見る、右方黑色の巨屋は陸軍運輸部倉庫と承はり候、全羅丸の荷揚げ約七百個あり、荷役の掛聲勇ましく港内に傳はり候

▲此日芽出度き立太子式を宮中に執り行はせらるに付、西湖津に碇泊せる吾が全羅丸を初め宮島鏡城の二隻は滿艦飾を施して祝意を表し、秋日漸く高き午前九時三十分、船客船員何れも上甲板に集まり、一同東方に向つて船長司令の下、兩陛下並に皇太子殿下の萬歲を三唱仕り候、其の聲の如何に高く又遠く響き渡りしかは茲に元々と並べ立つるにも及ぶまじと存じ差控へ候

▲九月下旬永興まで開通せる鐵道が數年の後咸興に延長せらるべきか、恐らく其の期は大正八年を出でざらん、之れ西湖津にとり重大の死活問題に候、何となれば鐵道全通後咸興方面發著の旅客は殆んど殘らず鐵路に依るべく、金融船積み等の便不便の關係は、其の從來吞吐しつゝある荷物も大部分汽車便にて元山港に移り行くべきを以て也、惜しい哉、西湖津は港湾としての價値殆んど云ふに足らず、此の推測の反證として擧ぐるに適當ならず候、

▲西湖津居住有力者は咸興鐵道開通後同地引揚げの心組みとて働きつゝありとも云ふ、交通機關發達の結果斯かる影響を生ずるは免れ難き事に候はん、午前十時鏡城丸の跡を逐うて出帆、前津に向ふ宮島丸は午後二時頃迄碇泊するとの事に候ひき、天氣快晴、波靜にて船客中船暈を感ずる者は極めて稀れ也、船員も斯んな穩やかな航海は珍らしと語り居り候

▲船長戸川孫四郎氏は六十有餘歲の老巧頑健の人也、海上生活を續くる事四十有五年、內地南半及び朝鮮近海の事は海圖以上に詳しいと云ふ、立太子式の萬歲を司會し了後の述懷に「俺も船長を勸め萬歲を司會した事が三回、乃ち第一兩陛下の御成婚當日、次は昨年の御卽位式第三は本日の立太子式也東宮殿下にもはや御成年に間もなき事とて其の御婚儀の時も遠かるまじく、今一度萬歲の司令がして見たいとあり、七十に近づくまで船長を勸めんとする戸川老の意氣は壯んなものに候はずや(前津にて)

◎横山教授入京

陸軍教授横山雅男氏は總督府に於て開催中なる各府郡島書記講習會講師として六日朝入京浦尾旅舘に滯在せり

◎謝恩使慰勞宴

謝恩使として東上し此程歸來したる朝鮮側實業家趙鎭泰韓相龍兩氏の慰勞を兼ねたる日鮮人親睦會は五日夜明月舘にて催されたり會者無慮二百七八十名に達し午後七時食堂を開始し趙子爵は發起人を代表して趣旨を述べ趙韓兩氏は今回の上京に付謝する處ありて東上新任總督に親しく面謁して懇篤なる訓諭を蒙りたることを述べ朝鮮に於ける總督府の施政方針には何等の變化なく寺内前總督は今回帝國の首相として朝鮮を去らるゝに至りたるも尚朝鮮の向上發展には何處までも盡力すべしと懇篤なる御挨拶あり長谷川新總督も是れまで朝鮮の進步發達に就ては新聞雜誌に依りて其大要を了解し居たるも今度貴下等より親しく其實情を聞き隔世の感に堪へぬ今後大に日鮮人の一致協力を計り以て朝鮮の開發に務むべしとの懇篤なる御訓諭ありたりと報告し次に金谷府尹は來賓一同を代表して謝辭を述べ終りて階下に於て妓生の數を盡したる餘興あり和氣藹々の裡に全く散會したるは午後十一時頃なり

別情離懷

小松綠

京城日報記者足下、僕貴紙を介して江湖と見ゆること幾回なるを知らず。今將に此の地を去らんとするに際し、固より兒女の涙を催すには非ざれども、生別離苦の念ひ迫りて多く言ふ能はず。茲に惡詩一駄句を呈し、貴社の好誼と江湖の眷顧とを謝す。

官遊二十載、回首跡茫々、看盡南山錦、布衣歸故鄕、

秋風や松一枝のかれてゆく

◎大分農林朝鮮見學團

大分縣立農林學校職員生徒一行二十九名は七日午前六時二十五分南大門驛著列車にて大田より入京東京旅舘に投宿の豫定なりと

◎新任長官動靜

新任上林忠南道長官の一日午後一時著任せし事は既報の通りなるが同日直に道廳に入り新任の挨拶ありて各官公署各學校等を訪問翌日は太祖宮招魂社に參拜神饌料を寄進し夫より孔子廟を參拜し三日は道廳に於て立太子禮式を祝し十一時よりは官民合同の祝賀會に出席午後は普通學校の運動會に出席せり(公州)

◎平壤穀物暴騰

平壤に於ける昨今の穀物相場は支那銀相場の騰昇の結果滿洲大豆買付困難の爲め內地商人の買手續々入込み値段俄に六七十錢方の高値を唱へ居るも先高を豫想して賣惜の氣味あり目下上物八圓四十錢並物七圓四十錢內外の相場なるが粟は一圓以上の暴騰にて石十圓二三十錢を唱へ居れるも市中在荷品薄なり又米は新物石十一圓六十錢並物十一圓二十錢精白米十四圓糯玄米十四圓二十錢同白米十六圓五十錢等なるも品薄にて纏まりたるものなし(平壤)

仁川

▲大豆運賃問題相談會　仁川商業會議所評議員同穀物協會役員及び會員鎭南浦沙里院有志は五日午後二時商業會議所樓上に於て大豆鐵道運賃問題に就き相談會を開催したり▲大弓倶樂部秋季大會　仁川東公園大弓倶樂部にては五日正午より秋季大會を催したり來會者は同倶樂部員青年會員敷島倶樂部員慶田組員等にて仲々の盛會を呈す▲基督教青年會夜學　仁川基督教青年會夜學會にては七日(火曜)午後七時半より新任獨逸語科講師ヘンセル氏朝鮮語科講師盧貞根氏の歡迎會及び講師中澤英二郞崔銑鄕兩氏の送別會を講習會員及び役員一同にて開催し引續き役員會を開催の筈▲地方有志來仁　鎭南浦新井新藏同商業會議所書記長堀貞吉齋藤精米所支配人加藤平太郞、櫻井商店支配人遠水淳一、沙里院實業協會長松本良吉の諸氏は五日仁川商業會議所に於て開催されたる大豆運賃問題相談會出席の爲め同日午前十時來仁▲紐峴驛の營業狀況　十月中に於ける紐峴驛の營業成績は前年同期に比して著しき不成績を示し乘降客數に於て三萬三千五百人減小荷物に於て六千斤減貨物に於て六十噸の減を見るに至れり

光州

▲軍人分會射擊會　光州在鄉軍人分會にては五日守備隊射擊場にて射擊會を催したるが名譽會員、特別會員、正會員等百五十餘名參列し午前九時より射擊開始正午休憩の上午餐を認め午後一時より再開し午後四時を以て終了せしが頗る盛會なり▲第三回米作收穫豫想　全南第三回米作收穫豫想高は水稻百六十四萬二千六十八石にして第二回の時より約三萬石の增收見込み陸稻は一萬三千七百八十三石にて二回の豫想二萬五百八十九石に比すれば減收なるが之れは濟州の土地調査の結果之を加算せざる事となれる爲めなり而して之を昨年實收高に比するに水稻約六分四厘陸稻約一割一厘の增收となれり▲漁船避難港修築　本道に於ける漁船避難港としては濟州別刀港一箇所あるのみなるが近來濟州島附近に於ても漁船の遭難多きより同島にも一箇所修築の必要を感じ先般來總督府へ申請中五日土木局より德廣技手出張し來り實地調査を爲す事となりしかば本道正林技手油谷濟州島書記も現場へ同行調査する筈▲本道虎疫熄滅乎　本道に於ては麗水、高興、濟州、靈光等に最も多く虎疫發生し最近に至りては他地は殆んど終熄したるも只靈光のみ依然頻發しつゝありしが之も廿八日以來本月四日迄に僅か一名の發生ありしのみなれば愈々近く全滅するに至るべしと豫想さる因に四日迄の本道發生累計百六十七名なりと

◎東亞煙草の活動

滿洲總販賣店の營業振

多年朝鮮及び支那に於て覇を東洋に唱へゐたる英米トラストと相對峙し帝國の經濟的急先鋒として起ちたる資本金三百萬圓の東亞煙草株式會社は疾くに朝鮮より英米煙草界の一大勁敵英米トラストを驅逐し續いて在鮮民煙を殆ど全滅し夫れより滿洲總販賣店を營口に開設し以て南北滿洲及び山東省各地に涉る英米煙草と對戰し來れるが斯くて其販路の擴張せらるゝと同時に同會社は滿洲に於ける將來の經濟的中心點たる奉天に大正三年六月三日滿洲總販賣店を移し爾來保々現所長の怪腕と努力とに依り益々目覺しき活動をなし今や其勢力は南北滿洲は謂ふも更なり山東省各地並に天津より遠く北京に涉り其販路頓に擴大せられ一般支那人間にも聲價を博し一時滿鮮山東の各地を我物顏して相當なる地步を堅め殆んど獨占の體なりし英米トラストをして顏色なからしむるに至れり蓋し滿洲に於ける東亞煙草の目覺しき營業振りと其販路の擴張とは獨り同會社の勢力の伸張たるのみならず帝國の滿洲に於ける經濟的勢力の伸張せられたる一端とも見るべく吾人は此際同會社滿洲總販賣店の勇敢なる躍動に因つて更に彼の英米トラストの勢力を滿蒙の各地域は無論のこと山東各地よりも全然驅逐せんことを翹望して止まざるなり(大連支局)

△立太子式之當日

大塊

本日の祝典を祝し奉りて
御代の秋さゝれ苔むすいわゐなる
實に大演習前一週間温泉にて靜養もと存居候處不得其意候
秋の暮婆婆は奔馬の芝居哉
右御一笑に供し申候也、不一。

人事消息

▲三原重俊氏(奉天大和ホテル支配人)　六日朝退京
▲朝比奈貞英氏(會社員)　六日午後退京
▲中村辰五郎氏(鎭南浦理事官)　六日朝入京天眞樓へ
▲佐々木清綱氏(釜山辯護士)　同上不知火へ
▲横山雅男氏(内閣統計官)　六日朝入京浦尾へ
▲吉木彌三氏(總督府醫院藥劑課長)　本町五丁目の十八番に轉居
▲堀田正忠氏(朝鮮煙草會社々長)　五日釜山著同日午後十時三十分發列車にて北行
▲菱田靜治氏夫妻(總督府通譯官)　五日午後釜山著同十時三十分北行
▲田中敬吉氏(東京日々新聞編輯長)　滿鮮觀察の爲め五日朝内地より釜山著
▲山形大佐(高等警察課長)　六日午後七時三十分南大門驛著列車にて滿洲より歸任
▲庵原文一氏(水產技師)　五日江原道より歸任
▲菅浦治太郎氏(水產技師)　此の程咸鏡道より歸任
▲原爲次郎氏(代議士)　入京中の處六日午前八時三十分南大門驛發列車にて內地へ
▲石原爾熙氏(南大門小學校長)　嚴父の訃に接し三日夜鄕里熊本へ

解雇廣告

滋賀縣人　外交係　加納卯三郎　二十九歲

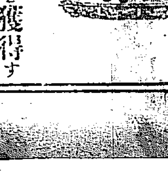
右の者不都合の行爲有之本月三日限り解雇候間以後當方に一切關係無之候

京城本町一丁目　大澤商店京城支店

新刊書御案内

書名	著者	定價
謠曲大辭解 全	木村、井上、本居 共著	特二、八〇
東西名著 危險なる年齡	武林 岡田 共譯	一、二〇
同印度文學史	[illegible]	二、五〇
市町村辭典	杉野耕三郎	一、〇〇
中等教科英和新辭典	佐久間信恭	特九〇
人生の快樂	大内[illegible]	一、二〇
帝國南進策	副島八十六	一、〇〇
滑稽奇譚大英國の危機	宮家[illegible]譯	七五
奥様園藝十二ヶ月上卷	千葉胤一	八五
柿本人麿	尾山篤二郎	六〇
小說鹿の子しぼり	北島春石	六〇
長篇講談羽柴筑前守揚名合桃李		三〇
必ず利くチラシの拵へ方	清水正巳	八〇
大正六年度東京遊學案内	帝國教育會編	五〇

大阪屋號書店
◎大正六年當用日誌懐中日記各種
◎朝鮮總督府巡査受驗提要　永野清　特四五
澤山著荷致候

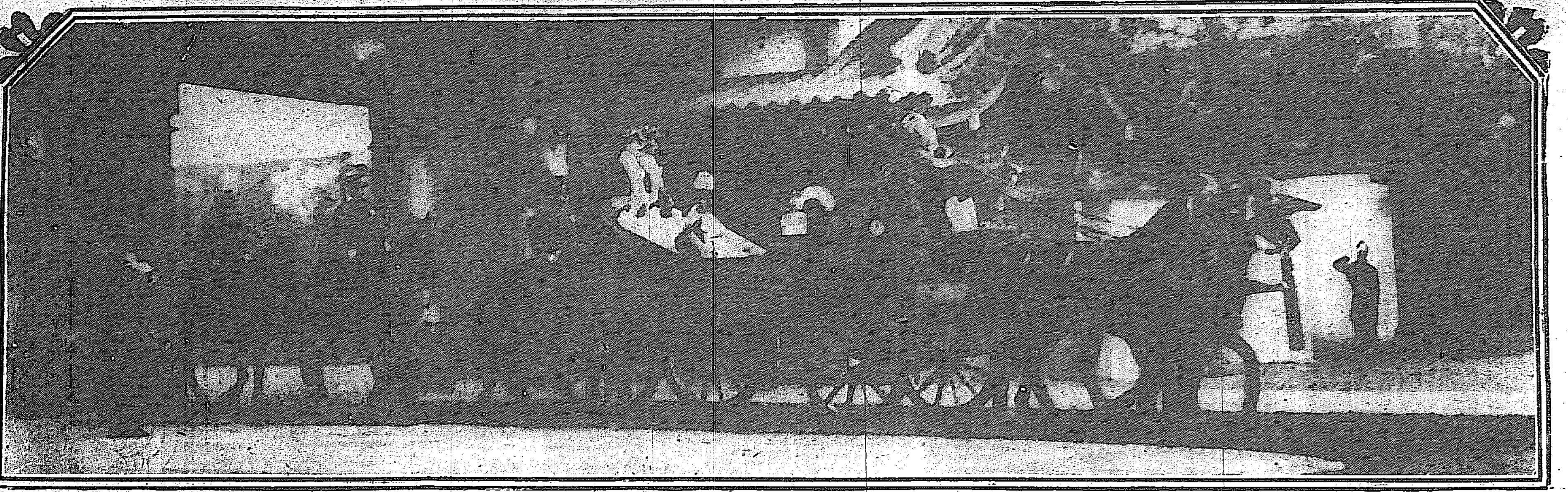
品質の優秀は
酒　醋
最後の勝利を獲得す
絶對の信用を博し

宮内省御用酒釀造元　攝津灘新庄家　若林合名會社
特約店　京城本町三丁目　山本富之助商店　電話五七五番

鐵材　鋼板　浪平板　針金　洋釘
新田帶革總代理店
物價表御一報次第無代進呈
ペイント、油類一切、マークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル
帶革、ロープ　機械、工具　附屬品　其他

移轉謹告

本病院本月三日より仲町新築へ移轉す此段謹告仕候

高木病院　電話七二九番



東宮參內 立太子禮當日東宮御所御出門（東京支局電寫）

八寶加卜秘史（五）

兵丁一千の訓練＝南清の革命

八寶加卜を自分の家に伴つて來た錦逵賚は恭しく八寶加卜を正座に請じ衆の中で行つた自分の無禮を謝した「永い間貴方のお名前は聞いて居りました我蒙古の北境で屢々兇暴な西伯利亞馬賊の掠奪を擊退して下された事が我蒙古人の守護神だといふ事も聽いて居ります」と二人の談しはそれから夫れにと移つて行く。錦逵賚は八寶加卜の漢族に對する

□復讐の希望 を聽きて之れに能き得る限りの援助を與へる事を約束した兎に角其の時期の到るまで克魯倫に止まつて悠々と畫策する事を勸めた。錦逵賚は猶克魯倫の勇ましい歷史に就て種々と語つた克魯倫は昔時の黑韃靼の地に屬し元の太祖鐵木眞は實に我黑韃靼に生れた神人であつた自分の父祖も太祖鐵木眞に從つて秦楚特の兵を破り白韃靼を併せ西夏を破り金遼を壓迫して元の大業を開くに當つて大功が有つた。明朝以後遂に我等は振はず成つたが

□中原の主は 天の命ずる儘だまして黑龍の上流克魯倫河流域曠野は兵馬を養ふに好適の地である甘草繁く茂りて數十の兵馬を容るゝに足り東方は大興安嶺、西は小興安嶺、山脈の險山連亙し南方千里の漠地は水草を絕ちて軍馬容易に近き難く天然の地形は一國を爲して居る他日の圖りを爲すに此の地は最も卿の畫策に便なるべし且つ卿の望に添ふならば娘錦台を妻として遣はすべしと八寶加卜は之れを聞いて大いに悅び其の夜は森の陰なる自分の幕舍に臥り翌日八寶加卜は

□蒙古人婚禮 の式に從ひ牛羊の毛皮、磚茶等の贈物を整ねて幕舍を取拂ひ錦逵賚の家に赴き盛んなる結婚式を擧げ其の儘錦の家に同居する事と成つた蒙古人は結婚の後一箇年は女子の家で生活する事に成つて居る此の一箇年の間に於て八寶加卜は岳父の兵丁一千を訓練し從來の編成を更へ三百人を一梯團と爲し第一梯團は銃兵第二梯團は長鎗隊第三梯團は拔劍隊と爲し此の外に新らしく傳令隊、糧食隊、養畜隊を設けて他日廣漠たる

□千里の砂漠 を涉り人跡絕わたる大山嶽を越ゆる遠征の爲めに計畫して居つた八寶加卜は更に一方に畜產を獎勵し自分から喀喇沁王の領內から羅紗機械を購入して毛織物の製造法を敎へ隊を組んで露領に入り牛羊と兵器とを交易して益々軍備の擴張を計つて居つた此の間に數年の歲月は過ぎて八寶加卜と其の繼女と見の錦臺との間には二人の男兒を擧げた、八寶加卜の執政の下に有る克魯倫は今や兵強く人民は富んで牛羊野に充ち遊牧の風習は廢つて居りながら

□境を越えて 他に移住する者なく且つ喀喇沁王の許に殘留して居つた舊部下も漸次集まつて其の兵力三千兵馬九千餘頭を有する程となつた折りしも宣統三年八月南清に革命起り遂に清朝は退位するの止むなきに至り清朝の各王は或は外國に或は外國居留地に避けた此の報を得た八寶加卜は單身蹶然と克魯倫を出でた

飛行將校意氣軒昂

闕門通過＝壯觀なる可き分列式

所澤飛行隊將校二十二名下士以下百名伊藤工兵大尉引率の下に六日朝門司通過演習地に向へるが同大尉は曰く本隊は古賀、久留米の南北兩軍飛行隊に配屬し七、八の兩日練習を爲し十一日開始の大演習より愈々本舞臺の活躍を爲す筈にて演習中雨天の際は偵察任務を果し得ざるを以て飛翔せざるも多少の風あるも敢行する豫定なり歸途は再び四機共飛行して所澤に赴く計畫なるが一部は歸途近衛第一師團對抗演習に參加すべし猶十五日の觀兵式飛行の分列式は見物なるべし（門司特電）

鼷鼠名古屋に

名古屋市に於ては又復ペスト有菌鼠を發見せるが之れにて都合四頭となれり（大阪特電）

矢張り京城が嬉しうムいます

小原夫人の談

考へて見れば丁度一年と六箇月前の今月の今日は忠清南道に轉任する主人と同伴に南大門を出發した時であつたことを思出し不思議に存じて居る處なんです——と新任農商工部長官夫人小原六子の君は五日一夕事の中で語る

轉任を發表されてから數日舊任地引揚げの準備やら送別會何斯と一家を一人で引受けての忙しさは夫人の面に多少疲勞の氣配さへ見わて居たけれど遉に

▽榮轉の 嬉しさは包みも切れずで絕わず笑顏を見せて人を外らさぬ應接振り、此日夫人はお召縮緬に茶がゝつた西陣の帶定紋に飛模樣ある淡紫のお召の羽織左の無名指に燦く細手の指環も赤配合よろしく

▽一年程 御無沙汰申して居りましたが京城を出ましてからは一年半にもなりますが京城には彼是れます元來筆無性なのとそれに家のことが忙しいのとに取りまぎれて御世話になつた方々にもつい〳〵御無沙汰勝で誠に相濟まぬことゝ存じて居ます此樣にして參ることゝなりましたので充分御詫をしたいと存じます公州ではお役所の同僚の方の奧樣方にも大變御近づきになり今度

▽轉任す ることが決りまして、愈々出發することゝなりますと或與樣なぞは成歡迄もお見送り下ださつたと云ふやうな御親切を受けました公州では田舍のことですから殆んど外になぞは出ず女中と鮮童一人宛を使ひまして臺所の事を手助と申しますよりも大方私しが主となつて働いて居りましたが京城に參りますにつきましても

▽やはり 使慣れた者が便利だと存じましたので二人共連れて參りました京城は公州とは違い主人がお役所向の方との御交際も自然廣ふございますので前よりは一層忙しからうと存じますがこれ以上人手は增さぬつもりで私自身がエプロン姿でお臺所を助ける考へでございます京城に參りましたことは

▽音馴染 の知合の方々にお目にかゝれると云ふことも素より嬉しうござりますが女としては日常の生活向に必要な瓦斯だの水道だの他の食料品が容易求めらるると云ふことが一番嬉しうございます……軈て汽車が南大門に著けば何百人かの盛な出迎人の中に廿數名の

▽大人達 も加はつて六子夫人との間に絕えて久しき御挨拶の交換があり車上の人となつて倭城臺の官舍に向けて去つた

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

○一口噺

甲『此頃釜山で五萬餘圓の紙幣で湯を沸かしたソウダ』乙『定めて風呂賃は高かつたらう』（一等） 晉州 丘 雲 生

△勅題遠山雪とあるを見て 西坊『今年の御題は女だなア』 京城 森 まん

△閑院宮兵式を見に行つて歸つて來た 與太『何んだつまらない！兵隊ばかりでチツトも見ないやしない』 龍山 松 本 生

△讀者『內地では自轉車の墜落が度々あるつてね』與太『空中滑走を行ればいいに』 京城 神崎白樂天

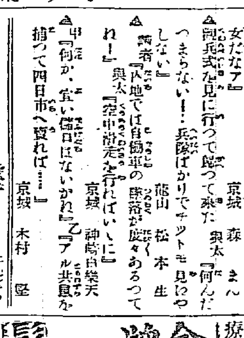
△甲『何か、宜い儲口はないかね』乙『アル共員が捕つて四日市へ寶れば……』 京城 木村 堅

鼠疫加茂丸に發生

給仕の感染＝神戶大阪兩市の大警戒

四日午後三時神戶に入港せる郵船會社汽船加茂丸の鼷鼠三十頭檢鏡の結果ペスト菌を發見し猶給仕二名ペストに感染し居りしを以て乘客三十五名其他乘組員及び荷物の揚陸等一切之を禁止し同船を和田岬に繫留乘客船員一同を同所隔離所に十日間隔離する事に決定せるが特別大演習御統裁の爲 聖上陛下行幸御通路の事とて阪神兩市の警戒嚴重を極む（大阪特電）

◎荷車の逆立ち 四日午前八時二十五分京城黃金町一丁目電車線路交叉點を東大門行電車が進行後市藥所居住の趙重福（一九）が荷車を曳き線路を橫切らんとしたる際鍾路方面より進行し來りたる五十八號電車に觸れ車體は逆立ちとなりて破損したるも同人には異狀なかりしと



◎自動車に礫る 五日午後四時頃京城朝鮮ホテルの自動車が黃金町通り黃金館前を疾走中折柄通り蒐りし黃金町四丁目劉召史方の雇人尹昌辰（三）なるものが礫き倒され前輪にて腰部を壓迫され其他二三個所に擦過傷を負ひたるが之れを目擊したる運轉手宮地某は直ちに停車したる爲め幸に後輪には觸れず昌辰が兩輪の間より這ひ出したる處へ最寄りの筑紫醫師が驅付け應急手當を加へ檢診の末外傷は極めて輕微なるも內臟の故障の有無は判明せず龍山鐵道病院に入院せしめて加療中なりと

◎寶生會を聽くの記

◎五日の日曜、諸町有明樓に久し振で京城寶生會の第十一回を聽きに往く。

◎寶生會を開いて、何時も失望するのは、會員諸中の謠は勿論、師匠連の謠に至るまで、全然聞柏子に外づれて居る所謂拍主謠なるのである。

◎次に氣に喰はぬことは、各番組役々の選定方である。之はどの組も拙誠で定めて居る樣だが、其結果は、シテワキまるで力量の轉倒したものがお互に位をとり違へた謠を謠ふといふ始末で、甚だ滑稽であり、不調和である。せめて地なりと面白く聞かうと思つてると、之も亦稽古が不十分である。

◎兎に角寶生會の月謠會は、各自師匠の宅での稽古と違ひ、少しは晴れの場所で謠ふのだと云ふ觀念を持してやつて貰ひたい。

◎それで、役の如きも師匠に於て適當と思ふ力量の者を交替に組合せて出し不調和を避けて貰ひたいものだ。同じ月謝を貰つてゐる弟子に力の甲乙をつけるのは或は師匠として出來難い事情もあらうが、之は弟子側の方で下手な天狗氣を出さず役々の選定を師匠に一任する樣に仕向けて貰ひたいのである、然し或る師匠の樣に好い役を地位の高い人に振り當てるなどは絕對に不可である

◎之を要するに京城の謠曲界はこの際大に覺醒を要する、今少し眞劍の態度を以て斯道の研究に祉み、將來は能舞臺の一つも建設して、時々子や能の催さるゝに至る氣運を作る位の意氣込でやつて貰ひ度いものである。

◎隨分惡口許り並べたが、是も京城斯界の爲を思ふ老婆心から認して貰ひたい。終りに各番組に就き、聊か妄評を試みて筆を擱く。

◎咸陽宮 遲刻したので聽かず、僕が往つた時は既に二番目の經政も半ば過ぎて居た。

◎經政 シテは癖のない無難な謠振りであつたが、未だ大分幼稚だ、然し淋しい。修羅物としては少し勢が無さ過ぎた。ワキも先ず無難の方だが、少しチバり過ぎた、それに調子が餘り一本調子過ぎる、地は小人數な故か良く揃つて居た、地としては當日一番の出來であらう。

◎三井寺 シテは可なりに謠つたが、狂女の位が少しも現はれて居ぬ第一初めのサシの出で失敗して仕舞つた。ワキは頻りにコケて居た。それに詞が芝居のセリフじみて嫌味タツプリだつた。地は餘りに滅入り過ぎて大分ダレた、鐘の段も期待した程でない、それにキリが顚るまづかつた。

◎花筐 シテは極めて嫌味のないよい謠だつたが、惜しい事には力が足らぬ。ワキ無難、ツレはお話にならぬ、ツレと云へば、何でも彼でもゾンザイに謠ふて仕舞ふ人があるが花筐のツレの如きは多少注意して貰ひ度い、地と來ては全然言語同斷とも評しやう、コンナ騷々しい、不揃ひな地も珍らしい、クセは隨分難物だが、斯う迄掬く行けば世話なし。

◎國栖 シテ[illegible]に可しチヨイ〳〵[illegible]間違へて居はしないかと思はれた[illegible]假名や節の誤りはあつたが、先ず當日での白眉と云つて差支なからう、ワキも可なり達者に謠つた、ツレは顚る拙い、第一聲の調子を誤つて居る、それが爲地謠の時も大分耳障りだつた、この人は恐らく耳が惡いのだらうと思つた、地は無難。

◎隅田川 これは番外として師匠連によつて謠はれた、シテ植木氏、ワキ岡中氏、子方及男岩橋氏、地が山田松田の兩氏、ワキは例の[illegible]な聲量でもつて十分の位を現はして居た、唯この人の缺點は假名が割れるのと、節廻しが拙いのとに在る、男はサラリとした位で、節も詞も上出來、肝心のシテは節は可なり行くやうだが聲が洗練されて居らぬ、それに狂女の趣も出て居なかつた。ワキとの掛合などは顚る氣拔けして居た。五つかそこらある『なふ』の呼掛けなど甚だ感心出來なかつた、地は大體に於て上出來、殊に『殘りても甲斐ある』べきは以下が良かつた、念佛は稍や工合が惡かつたが、キリが大に引き立つた『草茫々』のあたり一寸味を聽かせた。（寄法師投）

◎責任罪で百圓 愛媛縣松山市南堀端町生れ當時京城大和町二丁目[illegible]問題となり公州地方法院にて恐喝取財、背任、偽造行使橫領被告事件として[illegible]

◎泥棒の姿 京城安國洞居住[illegible]れて遂に從事されたり[illegible]

五日午後釜山入港さくら丸二等客（一泊）赤城五十嵐小太郎、堀田正忠[illegible]

◎讀者文藝課題募集規程

國歌集規程 ▲川柳は端書又は郵便の洋紙一枚に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事 [illegible]

天氣 曇り後少雨 十一月七日（午後六時[illegible]）

演藝案內

黃金館 電話 一八五二（階上）二六三七（階下）

天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 カシー商會朝鮮一手代理店 十一月七日より差替特別大寫眞 ▲實寫カタロニアの風景 ▲大滑稽ビル君の新兵 ▲大川五味高部池見大一派出演 致訓琵琶劇孝女お信 筑前琵琶兒島旭洲彈奏 ▲米國ユニバーサル會社一大傑作振天動地の大活劇の幕は切つて落さる黑箱の眞價は本篇より發揮せらる世界的探偵奇譚第三黑箱 第一卷南郷公和丸山南市第二三四卷薄田半曉長講 第七篇不思議の家米國からクレーグ、ホレーセット鄉館內に迷走した第八篇進傳されたアツシド到着者前に迷走した罪（?）英國（?） クレーグは探偵等 ▲嵐璃德勇太郎大一派出演 肥後の駒下駄 全四卷 ▲ユニバース應用連鎖劇月岡刑部宅の場

大正館 櫻井町 電話八七三

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 十一月八日より提供の新寫眞と餘興 ○實寫オランダの風景 ○喜劇甘い茶 ○滑稽ポピーの藝術師 △日活尾上松之助一派出演 舊劇鬼夜叉丸 全三卷 △佛國エクレール會社大傑作世界的大冒險大活劇天馬空 全三卷 惡漢フレツドは妻ヘレンと共に密かに大家の寶石を奪ひて蹤跡を晦まし曲馬團に入る國[illegible]に迷ひ一美貌の妻は[illegible]曲馬團に[illegible]せて[illegible]名探偵[illegible]の奇曲[illegible]佛國エクレイル會社唯一の大傑作 ▲大阪朝日新聞連載一大家庭小說佐藤紅綠先生原作日活京都俳優立花貞二郎一派出演 新派家庭劇『母と子』（全五卷） 少女梅子を心臟として五箇月間に亙り大阪朝日新聞に連載せられ[illegible]『母と子』日活會社が此の撮影興行權利を專有し[illegible]一度映寫上場するや小說及び新劇以上に情緒纏綿にして滿都の人氣を集中し[illegible]△餘興として少女浪花節日吉川うの子孃出演可致候

勿見落 本夜限り 初日以來六日觀客二萬の袖を絞らしめたる ▲ユニヴース應用連鎖琵琶劇 帝大學生山中の慘死 ◎寶錄 世界的探偵奇譚 鼠小僧治郎吉 ◎第二黑箱

滿員御禮 黃金館 明七日より特別大興行 ◎世界的探偵奇譚 第三黑箱 七編八編 薄田半曉南鄉公利九山南南長講演 ◎斯界の名優嵐璃德一座 寶錄肥後の駒下駄 四卷 ▲ユニヴース應用連鎖 月岡刑部宅の場 ◎敎訓琵琶劇 孝女お信 ▲兒島旭洲琵琶彈奏

有樂館 本町一丁目 電話二六六

日本活動寫眞株式會社特約 十一月二日より連續實演と新寫眞 [illegible]

御成座 電話二九一

[illegible]

壽館 京城壽町 電話一〇五〇 十一月六日より 獨特の浪花節東洋軒雷右衞門一行 ▲伊賀の水月（東洋軒雷吉）▲曙之魁（樋口義之助）▲左甚五郎（島山松雪）雪之曙（東洋軒雷右衞門）▲百集美談三席 ▲合併節水府公

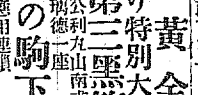
浪花館 明治町 電話二六〇 △當る九日より △生粋の江戶落語三遊派幹事朝寢坊むらく改め橋本川柳一座來る △出演者 △落語（三遊亭歌三）△落語（朝寢坊しらく）△笑話（[illegible]）△昔ばなし曲藝（[illegible]）△少年はなし [illegible] △おとし噺（[illegible]）△かけ合噺（[illegible]）△音曲はなし（[illegible]）△人情落語（[illegible]）○每夜正五時半開演仕可候

落花生買入 釜山辯天町 福榮商會 海外輸出部 電話長 三三九番 一一三番

期來！ 內地炭撫順炭コークス各種 仁川支那町 村谷石炭部 電話八一九番 配達の迅速秤量正確如何に確實なるか幸に御試驗を給へ

M印 品質本位 大阪唐物町四田商店

長壽靈品は ーヨーグルト 京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇〇四番 荒井の牛乳 滋養と健康の拇は



朝鮮總督府醫院藥劑手高橋秀三儀豫て病氣中の處藥石其効無く十一月四日午前十一時死去致候間此段生前辱知諸彥に謹告仕候 追て葬儀は十一月七日午後四時南山町東本願寺別院に於て施行可仕候 鏑木武雄 藤井虎彥 吉木彌三 大技義祐 樋口田謙治郎 兄 友人 總代

神佛葬儀請負 供花御寄贈品一切 京城大和町壹丁目五一 大和葬儀社 電話二四三八番

……年六月久能者三學と共に鍾山に手を出し尹滋參なる者に一萬六千圓出資せしめ其計算關係にて紛議の末刑事……部したる結果前判決を取消し背任罪として罰金百圓の處分となれり

……といふ……へて贅澤なる生活をなし……しゐたる……鍾路署の刑事に探知せら……

◇立太子式と地方の奉祝

▲天安　三日午前九時忠南、天安官民は南山公園に集合し九時三十分東方宮城の方向に面し最敬禮の後祝賀會委員長柴崎學校管理者の發聲にて萬歲を三唱し引續き學校運動場にて日鮮合同の大祝賀會を開催せり當日餘興として自轉車競爭學校生徒の競技各町より旗行列又午後七時より各學校生徒を中心として官民合同の大提灯行列に各自思ひ〳〵の意匠を凝したる假裝行列の參加ありて實に盛觀なりし

▲鎭海　鎭海要港部同防備隊鎭海要港司令部其他各官衙にては三日午前九時三十分遙かに東方に向つて當日の盛儀を奉祝し市民は鎭海神社前に集合し萬歲を三唱せり當日市中には菊花陳列會、生花其外種々なる催物あり夜に入りては一層の賑ひを呈したり

▲鎭海神社の遷宮式　鎭海神社の遷宮式は三日午前零時五分擧行神鑑は鎭海小學校なる奉安所を出で順路兇山の麓なる神宮に遷座を了り同日午前十時より祝典を擧げ餘興として相撲煙花の打揚ありて立太子式奉祝と共に頗る盛大に行はれたり

▲光州　三日午前九時卅分立太子式當日全南光州官民は小學校にて遙拜式を行ひ同十時より官民聯合祝賀會を開催したるが會するもの七百餘名松田學校組合管理者一同の賀辭を述べ宮木長官の發聲にて萬歲を三唱し一同乾盃して散會したり十時半より各學校生徒及び有志の旗行列あり午後一時より餘興場開放藝妓芝居、浪花節、琵琶、手踊、落語等を催し晝夜とも觀衆千餘名未曾有の賑ひを呈したり又鮮人は妓生踊角力を催し團體個人の假裝行列あり昨年の御大典に劣らざる賑を呈したり

出世の少年

□其四■父の福音　米藏は一縷の希望を得て旅館に歸つた、一日千秋とは眞に此時の思を言ふのであらう、窓の下を通る郵便配達夫は幾度か米藏を失望させたが、終に十一月三日、母國の天長節の佳節に一葉の郵便が屆いた、取る手遲しと開封して見ると「兎も角明日社に出頭せよ、給料は少ないが何とかしてやらう」とある、小躍して嬉んだ、米藏は翌日から二百人餘りの紫紺瑤眼の外人の中に、只一人

□黑い眼を　輝かして働く身と成つた。週給五弗―それは姿さんから五弗の週給を受け取つた、週給五弗―それは社會最下級の俸給であると聞いて米藏は『ア、有り難い、神に感謝する』と言つて踊んだ。姿さんは妙な顔をして『何がそんなに嬉しいのか』と訊いた、米藏は『最下級の俸給なら之れより下る心配はない、働きさへすれば上る一方かと思へば嬉しくて堪らない』と答へた。併し一週五弗では人間らしい事は迚も出來なかつた、四畳半許の田舍下宿の物置室に轉居して、五錢の電車賃は其の日から晝飯のサンドウヰッチ代に變つたが、之れでは腹が空いて堪らない、そこで公園に出かけては、窮民に施す

□慈善牛乳　を貰ひ受けて飲んで什うにか係うにか暮して居た、處が此事を聞いた日本人の先輩は非常に憤慨して、日本人の面汚し奴がと罵つて米藏を追めたが米藏は自分が慈善牛乳を飲む資格のある貧民である事を主張して、飽く迄先輩の世話になる事を拒絶し通した。天は終に盲目ではない。クリスマスの日に米藏は週給十弗となり。五箇月の後には二十弗となり。一年の後には三十弗となつて

□正社員に　編入された計りか、機械を日本に輸出する事務を一任され、純益の一割を配當金として受ける樣になつた上、旅費も日當も交際費も、自分の思ふ儘に貰つてもよい事を許され、駒又副社長室の隣りに一室を與へられて、一名の書記と專用電話とさへ附けられる身分と成つた。年月は流るゝ如くに過ぎて、早くも四年を經た『日本人岡本米藏』の名は漸く紐育市知名の紳士の間に知られて來ると共に世間も米藏を一流の紳士として尊敬する樣になつたが、米藏は一日も兩親と行倒の影に泣いた十年の昔を忘れなかつた。

□父の手紙　が屆いた、嬉しさ懐しさに一日、慄しや綴ゐて久しい十二年の昔、米藏が岡本家に養子に行く時、家債賣却の責任を負ふて實父に差し入れた一枚の約定書が、縱横に書き消されてあつた、躍る胸を押へて水莖の跡を追つて行く中に、米藏は嬉し涙が自ら湧いてくるのを禁ずる事が出來なかつた。手紙には大要

□次の樣に　書いてあつた。『お前の送つてくれた拆の附かない亞米利加弗は積り積つて四千七百圓となつた、十年の昔借金の爲めに毎日泣いて暮らした我家は、今では却つて人から金を借りに來られる樣になつた、六百五十戶の村の中で、我家程圓樂な幸福な日を送つて居る家庭はない、之と言ふも皆米藏お前のお蔭だ。お前は自分の子ではない、我家の護り神である。兩親はお前の寫眞を神棚に祭つて毎朝禮拜するお禮をした後でなければ箸を執らない。お前の住んで居る亞米利加の方と聞く東へは足を向けても寢ては居らん、何と言つたら嬉いのか、只有り難さに涙が出る計りだ』米藏は泣いた、聲を擧げて泣いた。

毒のある茸

今頃は茸類が出盛りなので往々有毒なものに當つて胃加答兒を起したり下痢したりする人がある樣ですが、一體松茸や◇初茸は　多量の蛋白質を含んで居るから一寸考へると營養分がある樣でありますが多く食べると逆上せたり秘結したり又は古い腐敗しかゝつたものを食べると腹痛を起して下痢を催します、又有毒な菌は一寸見分けるのに六つ箇敷いのでなるべく普通一般に知られて居るものを食べなければなりませんが有毒な菌を見分けるには傘の粘つくものや莖を裂いてみて縱に裂けないものとか色の◇美しいもの、壓つぶして見て乳色の汁の出る如うなものは避ける宜敷い、其外茸類を煮た時鍋の中に銀簪金の匙を入れてみて匙に色がつく樣なものも有毒であります、それから椎茸に似た菌に月夜茸と云ふのがありますが、これは夜、傘の裏に燐光を發するものです。食事後は十時間乃至四十時間を經過して中毒症を起す樣なものは餘程劇烈なもので生命に係る樣なこともありますが◇只嘔吐をしたり頭痛がしたり發熱したりする位のものならば吐劑を服用して胃中のものをすべて吐かせてしまつて早く醫者に見せるが宜敷い。若し又既に腸の方に廻つて居る樣であつたら灌腸して心臟痲痺の起らぬ樣に興奮劑を與へなければなりません。

◎廣安眞隨師　浄土宗朝鮮開教總監廣安眞隨師は五日午前入港の釜連絡船高麗丸にて釜山上陸左の日割を以て巡錫の筈
釜山知恩寺(六、七日)釜山教會所(八、九日)方魚津(十、十一日)金海教會所(十三日)大邱大邱淨寺(十五日)公州教會所(十六日)江景教會所(十七、十八日)木浦教會所(十九、二十日)仁川明照寺(廿三、廿四、廿五、廿六日)京城開教本部へ着

神社とお寺と教會

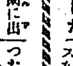
◎日蓮大聖人御會式　旭町三丁目日蓮宗護國寺に於ては來る八日(舊十月十三日)宗祖日蓮大聖人六百三十五年の御會式に相當するにより六日七日は午後七時より講演法座に說教八日は午前十時午後三時同八時讀經說教法要あり尙同日は一般參詣者に御齋供養あり

◎本派本願寺　來る七日八日兩日本派本願寺に於て平壤佛教婦人會主催となり立太子式奉祝大會を行ふ由眞宗各派淨土宗日蓮宗の各宗派布教の大僧道なれば定めて參詣者多かるべし

◎西本願寺　(若草町)六日午後七時より明照講演三浦光顧問醫學士の說話あり

◎龍山興國寺の會式　來る八日陰曆十月十三日日蓮上人入滅の忌日に相當するにつき報恩會式を執行し川邊主任の講話あり終つて精進の饗應をなす由

たいこう その日



◎スタフットエッグクランド　丸茄子を立二つに割り中身をスプーンにてくり拔き鳥の挽肉を今一度庖丁にてたゝきながら鹽、胡椒とトマトの皮をむきたるをたゝきまぜ前の茄子の内側に鹽胡椒を振りて鳥の肉をつめバタを少しのせてパン粉をふりかけて天火にて燒きトマトソースをかけて出す(青木ほわ子)

商況

東京株式特電
[illegible]

債券現物特電（前日との比較）
[illegible]

東京公債直取引（前日との比較）
[illegible]

深川在米特電
[illegible]

東京期米特電
[illegible]

大阪株式特電
[illegible]

大阪三品特電
[illegible]

大阪期米特電
[illegible]

下關期米特電
[illegible]

雜報
[illegible]

●工業藥は好勢
[illegible]

●染料赤色類昂騰
[illegible]

●北鮮鰊商談　二圓方引締
[illegible]　百五十圓

●白米移出好況
三十八圓に元山方面 南大門驛著　六十七八圓　由渡しに五十五圓或

●鰊篩次第高　本月中旬迄殆ど手一杯の注文を引受け居れり

七圓方の暴騰　二十八圓より約十八圓以下に手放し

ⓜ仲買店
仁川米豆取引所仲買人　支配人　土居勝　電二八一番

●津浦明太子入荷　一圓二十五錢乃至三十錢處

●白米小賣値上げ

●精白眼先高　五厘方の値上　更に五厘方の値上行

下關相場
[illegible]

仁川現物市場
[illegible]

南大門の廻穀
[illegible]

京城正米
[illegible]

㊝仲買店
仁川米豆取引所仲買人
[illegible]

仁川期米　▲六日前場　昨止め二十三錢の大上放れ入電
[illegible]

釜山市場（五日）
[illegible]

大五仲買店
仁川米豆取引所仲買人　海岸町三丁目　電話三〇九番長九一二番

確實迅速
仁川米豆取引所仲買人
[illegible]

白米標準値
[illegible]

小賣白米
[illegible]

仁川米豆取引所　六日の一月限
[illegible]

更に爆發す
[illegible]

期近の混戰
[illegible]

市場零聞
[illegible]

堅移り　二十四錢の大上放　二節七十二錢と小
大阪七節七十五錢　八節八十錢と更に暴騰
[illegible]

大正五年上半期決算報告（自四月至九月）

借方

科目	金額（圓）
地所	貳五、〇〇〇、〇〇
建物	貳貳、〇〇〇、〇〇
營業什器	貳五〇、〇〇
所有價證券	壹、參壹貳、五〇
銀行當座預金	參九七、八八九、七貳
貸付金	壹貳、參〇〇、〇〇
定期預金	貳貳、〇〇〇、〇〇
別途預金	貳〇、〇〇〇、〇〇
仲買人立替金高	四〇、七六貳、五〇

貸方

科目	金額（圓）
資本金	四五、〇〇〇、〇〇
法定積立金	參〇、五〇〇、〇〇
別途準備積立金	七五、〇〇〇、〇〇
所有物償却積立金	壹參、〇〇〇、〇〇
配當準備積立金	六〇、〇〇〇、〇〇
仲買人身元保證金	貳〇、〇〇〇、〇〇
賣買證據金	壹五六、壹六五、〇〇
諸預り金	四四、〇〇
受渡米代金	六四、五〇〇、〇〇
前期繰越金	七、五八〇、六七
當期純益金	六九、八貳五、〇五
合計	五四壹、六壹四、七貳

利益金ノ處分

科目	金額（圓）
當期純益金	六九、八貳五、〇五
前期繰越金	七、五八〇、六七
合計	七七、四〇五、七二
內	
法定積立金	參、五〇〇、〇〇
別途準備積立金	貳七、五〇〇、〇〇
所有物償却積立金	壹、〇〇〇、〇〇
配當準備積立金	壹〇、〇〇〇、〇〇
役員賞與金	六、九八貳、〇〇
株主特別配當金	貳貳、五〇〇、〇〇
株主配當金	四、五〇〇、〇〇
後期繰越金	壹、四貳參、七貳

右ノ通ニ候也
大正五年十一月
株式會社仁川米豆取引所

期米　今延商店　㊝
大阪堂島米穀取引所仲買人
致宮之栞進呈
電話 北四六八番 北四七〇番

贊化病院　京城本町二丁目　電話二四〇番
醫學博士 古城憲治
岡山醫學士 上野亮藏
内科 小兒科　入院隨意　無料施療す 毎日五名を限り

不動產即賣會大成功御禮
昨五日土地建物即賣會開催仕候處各號全部左記の通り相當價格にて賣約成立したるは如何に黄金の浪が打寄せ土地放資に向ひつゝあるかを證する實際問題に有之候と共に弊所多年の苦闘に御同情を寄せられし結果と奉深謝候此機會に於て益々公明正大に之が唯一の機關として今回の大成功を記念し引續き來月初旬第五回を開催致候條土地建物放資希望者は至急御申込相成度先は以紙上御禮旁御依頼迄　敬具
京城不動產即賣會
(壹號)買收者 小林藤右衛門殿 金參千七百卅九圓二十錢
(貳號)貳番札 三千六百七十九圓廿錢 買收者 藤山千代松殿
(參號)[illegible]
(四號)[illegible]
(五號)買收者 李 [illegible]
(六號)[illegible]
(七號)[illegible]
合計金 [illegible]
京城太平通二ノ七八（電話貳貳壹番）
多田不動產信託所

今般小生所有地放賣ニ對シ以御蔭全部賣約を終り候仍而は各位の御情と多田不動產信託所の確實熱心なる取扱により斯る好結果と奉深謝候從つて當日御來賓諸氏に一々拜趨御禮可申上筈の處乍略儀紙上を以て御禮仕候　敬具
大和町二丁目八十五番地　長嶋留次郎

純良請合　桑苗　像約貴需
魯桑、市平、高助、其他各種、魯桑實生（純粹保險）接木用實生苗
大田　東一蠶社　長電話百〇七番

新荷着

船來ストーブ　奉天製胴張ストーブ
京城本町二丁目　釘本藤次郎本店
電話 四五番 二七七四番　振替京城二五六番

有給社員募集
明治公債株式會社
京城黄金町　朝鮮支部
釜山幸町、大邱東城町、太田榮町、群山曙町、平壤本町、元山仲町、清津敷島町、咸興大和町、木浦大成洞
朝鮮外事部、釜山出張所、大邱出張所、太田出張所、群山出張所、平壤出張所、元山出張所、清津出張所、咸興派出所、木浦派出所

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗　サクラ正宗

京城明治町二丁目　山邑京城支店
電話 八四一番 九四五番　振替京城西七番

内科 小兒科
京城永樂町二丁目（品商陳列館前）
村上病院　電話六
院長 醫學士 村上龍藏
副院長 熊本醫學士 林下三

宮本武藏

第二百八回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

仙臺の芭蕉ケ辻で曉雲が彼の若侍に說論いたして助け遣はし、さア參らうといふ處へ『ヱー若し〳〵、私は本町の旅籠屋渡世海老屋嘉十郎と申す者でございますが、最前から此處で樣子を見て居りましたが、彼の若侍へ理解をお說なすつて、助けてお遣んなさるとは實に感心いたしました、若し貴下方が城内へ突出してもしたら彼の人の親御達も心配をするでございませう、それこれを思つてお助けなさると云ふは御年の作用かは知らんがお情け深いことで』曉『イヤお賞めに預つて痛み入ります』嘉『就いてはお聞申しますが今晩は此の御城下へお泊りでございませうな』曉『左樣で、是非當城下に一泊いたしたいつもりで』嘉『それならば私共へお出を願ひます』曉『甚だ斯樣なこと申しては相濟みませんが、私の方から願ひます事ですから旅籠代は頂戴いたしません』曉『イヤそれでは恐入ます、何處へ泊るも同じこと、それならば是非何うか願ひとう存じます』嘉『さア御案内をいたしませう』と兩人を伴れまして嘉十郎本町の我が家へ戻つて參り 嘉『今歸つてよ』女『オヤ旦那お歸んなさいまし、今の騷ぎも鎭つたやうで』嘉『宜い按排に早く治つたよ、それに就て此の旦那方をお伴れ申して來たが、今夜は家へお泊め申すのだ』女『然うでございますか、さアお上り遊ばせ』嘉『さア旦那方遠慮なく二階にお上りなすつて』兩人を二階の奥座敷へ通し風呂に入て酒肴をそれへ出して馳走をする嘉十郎は其處へ參つて 嘉『さア旦那方悠然お上り下さい、私も一ツお相手をいたしませう』曉『イヤとんだ御厄介で』嘉『まア二三日逗留なすつて此の御城下を御見物でもなさいまし』曉『有難うございます』嘉『それに就て貴下方はお武家のやうでもあるし又一本刀で袈裟なぞを被てお出なさる處を見ると武家でないかとも思ふ、失禮ながら何の業でお在なさいますか』と尋ねられた時に是まで者に皆工で渡つて來たが、信夫郡喜左衛門の處で講釋を讀んだことがあるから講釋師になつて見やうと思つて曉雲が 曉『左樣私共は江戸の講釋師でございます』嘉『ヘヱー講釋の先生で』曉『左樣』嘉『私は元生れは江戸の深川六間堀といふ處でございますが大工でありましたが、若い時に道樂者で飮む打つ買うと三ツ揃つて居る爲に、とう〳〵借金だらけにして江戸に居られねェ始末、所が家内が此仙臺の者で、それじやア國の方へ逃げて行うと云ふ所から家内と一緒に此の仙臺に參りまして相變ず大工で生活て居りました處、御城内へ仕事に行つたのが幸となり旦那方の御愛顧を頂いて、何うだ嘉十郎金主について遣るから大工を廢めて何か始めたら宜からうと云はれ幸ひ此の旅籠屋が賣物に出て居りまして悉皆跡を引受けて稼業を始めました處海老屋嘉十郎で今日では押しも押されもしない世間並の旅籠屋になりました』曉『それはお仕合せなことで』嘉『處が江戸に居た時分は講釋が飯より好きなので近所の寄席へ聞きに行きましたが、良い先生が幾〳〵も居りますね』曉『左樣、何と申しても講釋は江戸に限ります』嘉『貴下方は江戸にお在なすつたといふが、私は一度も見たことがございませんが何といふお名前で』曉『左樣、手前は一貫齋曉雲と申します』嘉『ヘヱー、此方のお方は』曉『是は私の弟子で二天と申します』嘉『ヘヱー、餘り聞いたことがありません』曉『然でせう、久しく中絶をしたり又主に田舍廻りをして居りましたから』嘉『成程、兎も角今夜私の處で座敷一ツ催ふしませう、此の近所にも講釋の好きな者が澤山ありますから沙汰をすれば皆な來ますから、手見せに一ツ演て頂きたい』曉『宜しうございます、それなら一席辯じませう』飄輕な人があつたもので六萬石のお大名が講釋師と觸れ込みました

内科 小兒科 婦人科 京城醫院 村上憲佑
本町二丁目浦尾旅舘前電話七四二番

京染 呉服 京都たまや出張店 永樂町三丁目 電話一一九六

花柳病 皮膚病 須古醫院 電話二一〇二番
京城府永樂町一、商品陳列舘通坂の上

十一月八日 九星
舊十月十三日 己酉
水命 六白 乾 開 佛滅

▲六白●おせじ上手の害ある日新邪見合 南方は吉晴劍乾▲七赤●困子よき日轉居旅行入學名弘求職 探 蕨婚姻 金談定期業等萬吉▲八白●大儀有る日轉居旅行入學 名弘出産建築婚姻金融業など萬吉▲九紫●業破の事有る日 新事手控へ開く等萬吉▲一白●好況旅事は吉 女子は行義を守らるべし▲二黒●かな等日轉居 旅行入學 求職名弘出産開業建築等萬吉▲三碧●女難失物用心の日新事手控への事は吉 御散財なからるべし▲四緑●困却なる事多き日 新事手控へ 開く等萬吉▲五黄●盛運の日轉居旅行 入學名弘求職造船金件婚禮土工請負等萬吉

急性 慢性 胃病 便秘 痔 治癒劑 直ぐ胃腸も能く効く論より證據
大効丸 試みに試し給へ
本劑は多年實驗の良劑故永年困難の胃腸も治癒せしむ…▲又虚弱症、座業の人、腦病家、精神過勞の人、大酒家等、常に服せば胃腸を健全にし、食物の消化を助け、逆上を引下げ、つうじを適度にし、身体を強壯にし、且卒中中風を豫防す。
(一週間分三週間五十錢一ヶ月一圓送料二錢)
本舗 名古屋市廣小路通 小林廣大堂 大阪平野町小林大藥房 東京淺井角散

髪をしなやかに 丈長かく
美しく房々と
黒く 漆のやうにするは
麗わ世界に
パール 煉香油 があるばかり
パール愛用者がおつしやる實話であります
本舗 東京 平尾贊平商店
關西代理店 大阪 平尾贊平支店

特長
ライオン齒磨
目五 ライオン齒磨は大人にも子供にも適してゐる。
ライオン齒磨は化學的作用を注意すると同時に、神經の過敏な婦人小兒の齒牙口腔に觸れても決して悪い刺戟の起らないやうに、齒刷り舌觸り及び香、色までも悉く好い感じのするやうに精製してある。だから齒磨を使ふ良習慣を附けるにも、又始中終此良習慣を守つて行くにも、ライオン齒磨ほど理想的なものはない。(序に言ふが、齒磨の色素は別段歯に影響のないものだから、)清新輕快な感じを與へるライオン齒磨の朱鷺色は正に理想的のものである。

男子は勿論
婦人にも向く
最高美味滋養
フェロール
體育保全 補血營養
▲婦人の弱きは家庭の不快!!
▲男子の弱きは家運の衰へ!!
故に心して朝夕一杯のフェロールにて健康の萬全をはかりたまへ
定價 ●試用瓶二十錢 ●中瓶一円 ●大瓶一円七十錢 ●各藥店等にあり
創業元 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛

最上醤油
許可 官 模様製
ほまれ味噌
絶對的品質本位
鮮滿釀造界唯一の名譽
於始政五年記念物産共進會
金牌受領
釀造元 仁川港
日本醤油株式會社
京城出張所

内科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院

くすりは山岸
諸官衙御用達
洋藥 賣藥 卸問屋
醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實に市内配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前
山岸天佑堂 藥品部 器械部

京城日報

七日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金六十五錢

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

第三版

仁川米豆取引所

▲利喰併び

▲現物市

鵲巣居閑話　蘇峯先生談　中島生記

責任の大義（四）

英國に於ては、國務大臣は、議會に對し責任を有し、我國に於ては、國務大臣は、天皇に對し責任を有す。此れが、英國憲法と、帝國憲法との、根本主義に於ての相異である。尤も、英國にても、十九世紀の初め、ヂョーヂ第三世の時には、隨分議會の意嚮を顧みず、國王の隨意に、宰相を任免したることはあるが、最近百年に於ては、斯かる例はない。如何なる國王の信任を得たる宰相でも、其の宰相が、一たび下院の多數の信用を失ふ時には、餘儀なく彼れの辭職を聽許せねばならぬ。女王が、其の親とも師とも頼んだる、メルボルン卿に、涙を揮つて別れたのも、彼れが下院に於ける、多數を失ふたからである。又其の中心頗る面白からず考へたる所の、パーマーストン卿を、首相として受取らねばならぬのも、彼れが下院に於て、多數の推戴を得たからである。

英國では、主權は議會に在りて、議會と云ふ中には、國王と上下兩院を含蓄して居るが、之を精細に分析すれば、然かも議會は下院にあるのである。乃で英國は、立君民主政體である。下院の意思には、何ものも抵抗し能はぬ。されば、憲法學者のダイシーも、下院で成し得ぬ事は、唯だ男を女とし、女を男とすることだけであると、云て居た。我國の憲法は、所謂立憲君主政體であつて、國務大臣は素より君主に對つて、責任を有するもので、議會に對つて責任を有するものでない。乃で、君主の信用のある間は、如何に議會が、信用せぬと云ふも、其の爲めに退かねばならぬ理由はない。議會は議會の權能に依て、不信任決議をなすことも能る。彈劾上奏案を提出することも能る。然かしながら、其の爲めに、國務大臣は、辭職せねばならぬと云ふ責任は議會に對してない。英國では、斯かる場合に於ては、辭職の外、唯だ議會が國論を代表せぬと認むる場合には、解散に依りて、輿論を問ふこともある。或は議會の多數は得つゝも、其の多數が、頗る薄弱にして、到底久しきを持す能はぬと云ふ見込に際しては、自から職を退く場合もある。孰れにしても、國務大臣の進退は、君主の信用如何に因らずして、議會即ち下院の信用如何に因るのは、英國憲法の根本主義である。此の根本主義を、其儘我帝國憲法に、應用せんとするは、取りも直さず、非立憲である。所謂憲法を紛更せんとするものである。即ち憲法の敵である。然かしながら、如何に國務大臣が、議會に責任を有せざればとて、立法部と行政部との衝突を來し、之が爲めに政務の進行を阻碍し、上聖明を煩はし奉るが如き事あるに於ては、君主に對する責任上、恬然として其職に在る能はざるは、勿論である。乃で其結果は、責を引かねばならぬと云ふことになる。其の責を引くのは、勿論君主に對してである。斯の如く英國の憲法は、下より上に行き、日本の憲法は、上より下に行くが、國務大臣の責任其ものに於ては、彼我共に輕重はない。君主に對して責任あるのみであるからとして、國民を敵として、其儘位地に執著するなどと云ふことは、所謂君寵を叨にする所以であつて、君主に對する、責任の大義を、忘却するものと謂はねばならぬ。此の意味に於て、我帝國憲法の大臣責任の大義は、炳焉として日星の如く、何人も之に向つて、毫點の疑義を挿むの餘地はない。英國では、法理上議會に向つて、責任を有するのみであるから、君主の信任不信任は、之を度外視して居るかと云ふに、事實然うでない。何れの宰相も、出來得る程度に於て、君主の信任を得んことを努めて居る。又君主の大權に就ては、彼等は何れも尊重して居る。即ち英國でも、國務大臣任免は、君主の大權に屬して居るから、如何に多數黨が、當然在朝黨になる運命を、有して居れば迚、君主の任命ない限り、其首領が、自ら首相の位地に就くなどゝ云ふことは出來ぬのである。例せば、一八八〇年の、自由黨の大勝利に於て、事實の首領は、虞翁であつたに拘らず、名義上の首領は、後にデヴォンシャイア公と稱する、ハーチントン侯であつた。誰れしも女王の招命が、兩人の中孰れに來るかと云ふことを、先知した者はない。ところが女王は、先づ名義上の首領ハーチントン侯に、內閣組織を命ぜられた。然かもハーチントン侯は、逆も其の見込なかりしを以て、之を辭し、乃で女王は虞翁に命ぜられたのである。又虞翁が老病により、其の第四次內閣を退くに際し、豫め自己の後任者には、スペンサー伯を擬して居たのである。スペンサー伯は老成人にして、上下兩院の自由黨員に、受けが良かつた。之に反し、下院の首領ハーコートや、上院の首領ローズベリー伯やは、有力家には相違なかつたが、全黨統一の器としては、當時缺げて居た。然るに女王は、虞翁の辭表を受取つた儘にて、後任者については、何等の諮詢もなかつたから、虞翁も詮方なく、其儘罷り退り、斯くて女王は、ローズベリー卿を後任者とし、乃でローズベリー內閣は成立したが、案の如く、ハーコート、ローズベリー兩派の軋轢のために、纔て其の內閣は瓦解したのである。英國の如き立君民主的國でさへも、苟くも君主の大權に屬することは、之を尊重し、決して冒瀆することはないのである。又獨逸に於ては、我國と同樣、其の帝國首相は、君主に向つて責任を負ふものであるが、然かし彼等も亦、其責任の何ものたる事を、克く了解して居る。例へば、前首相ビューロー公の時代に、獨逸皇帝との對話なる一文、英國のデイリーテレグラフ紙上に出た。之は實に青天の霹靂であつた。其の對話の中には『朕は英國と親和するを欲するも、朕が國民は、概して英國嫌ひだ』など〻云ふ、露骨な文句もあり、之が爲めに、獨逸帝國議會の問題となり、實を言へば、此の藪から棒の對話發表は、ビューロー公も寢耳に水であつたのである。然るに彼は、議會に向つては、評なとして、自から之を關知したるものゝ如き態度を執り、身を挺して其の矢表に立つたのである。彼は決して君主に代つて、責任を議會に取つたのではない。唯だ、君主に向つて、君主の政治的行爲には、善も、惡も、自家其責に任ずると云ふ意味に於て、責任を取つたのである。即ち、君主の政治上の過失は、輔弼の責を有する國務大臣の過失である。君主は神聖にして、侵すべからざるものであるから、君主の失德は、輔弼の臣僚の責任でなからねばならぬ。是れが立憲君主政體國務大臣責任の大義である。我國に於ては、強て根本主義を異にする、我が帝國憲法を、紛更せんとする傍らに於て、英國の政治家でさへも、敢てせざる所の事を敢てし、功あれば之を己れに歸し、過あれば之を君主に稼し、然かも君主の大權を冒瀆して、自ら顧みざるが如きものあるは、奇怪千萬である。然るに、輿論が毫も斯くの如き者に向つて、制裁を加へないのは、我が與成なる立憲思想の、充分に國民の間に徹底せざるが爲めであらう。吾人が、君德の養成を上に說き、民德の涵養を下に說くのは、唯だ我が憲政をして、其美を濟さしめんとする、赤心に外ならぬのである。而して民德の要は、先づ健全なる立憲的智識を基礎とせねばならぬ。

晩秋　清涼里　石田富造筆

朝鮮の古城郭（三）　八木奘三郎

（四）歷代城郭の變遷（承前）

日本の神籠石と朝鮮の古城郭

予は朝鮮古城郭の沿革を記述し來りて、彼の石城論に逢せしに依り、茲に日本の神籠石と朝鮮の古城郭との異同を一言する必要を生せり、此點は恐らく朝鮮在住者の間に何等の議論あるやを知らざる人多かる可しと雖も、吾人同志者間には永年論戰を重ねて其解決を圖らんと欲するもの甚だ多く、又從來の歸著點は皆な神籠石の根源が大抵朝鮮の古城郭に出づとの說に基き、其間に密接の關係を保つに依り、予は右を紹介すると共に現在に於ける自己の所見をも發表し置かんと欲す、之れ順序上肝要の事柄なればなり

日本の神籠石（或は神護石とも書く）は九州の西部、兩筑、豐前及び長門の一地方に限て存在する大遺跡にして其現狀は大なる切石を接續して山を繞り、谷を越へ、巡環して大なる一郭を構成せるものなり、此遺跡は初め小林文學士と云へるが學界に紹介し、尋で予が實見の上、城郭說を出し後文學博士喜田貞吉氏は予の說に反對して神社の圍ひ說を主張し、爾後白鳥、關野兩博士、及び谷井文學士は予の說を賛し、久米、大類兩博士以下は喜田氏の說を助けて今に及べり、蓋し是等の諸說は玆に細叙する遑なきも、要するに山嶽を圍繞する形狀と、其規模の大なるとは確に朝鮮の山城に類似せり、故に予は神籠石城論を出せし後、即ち明治三十四年初て朝鮮旅行を試みし際、各地の山城を見て、其同系統に出るを感じ、之を東京の專門雜誌に掲記せしことありし、然れども予は單に系統の似たるを認むるのみにて、純然たる一致說は未だ之を世に出さゞりし、开は神籠石が一の根石に限りて朝鮮の山城、就中石城は全部石壁なりしを以てなり、然るに關野、谷井の兩氏は此點に就て、餘程強く一致說を出されしにより、殆んど竿頭一歩を進めたる觀あり、隨て疑問の餘地なきが如く思はるゝに至れり、予は當時二氏の同說を喜びしも、再度渡鮮の後、朝鮮古城郭の變遷を注意するに當り、予が前說の足らざる點を覺ると共に、日本神籠石は朝鮮の流傳にあらずして、寧ろ支那風の直輸入にあらざるやを氣附くに至れり、何となれば朝鮮十三道の古城郭は今日あらゆる其狀態を知り得るに至しと雖も神籠石の如き根石接續の例は一も世に存するとなく、又其石城發達の根源が從來の豫想よりも案外後代に離れる事例を知り得たるを以てなりされば他の諸氏は姑く措き、予は日本の神籠石に對し、其流傳の徑路に就ては今日支那說を採らんと欲す、勿論右が城郭たることは別に變更する必要なく、又右が朝鮮の山城に似たる點あるは顧ふに其淵源が倶に支那に出でし結果なる可く、唯だ此風が或地點より分岐して一は朝鮮に入り、他は日本に傳はれりと見ば別に不可なることなかる可し、但し詳細の論は他日改めて記述す可し。

紅葉（五の日十の日會吟）

○　不考郎
藥卷く風と紅葉する山裾と
○　浮碧樓
湯ざめぢに紅[illegible]合ふ
○　坡柳
藥下りし洗足つめたく紅葉
○　鳥堂
紅葉仰ぎ犬嗅ぎ渡る

第四回朝鮮短歌會選歌（三）

（二點）
いく年も育ぐくまれたる故鄕の阿武隈川にも秋は來つらむ　京城　長鍋塊勇

（同）
職を求むる友は運動の甲斐なしと醉ひて戾れり秋の夜更けて　龍山　岡本小草

（同）
ゆく秋の淋しき心あきらめて今日は今日とていそしみにけり　龍山　三村秋月

（同）
ゆく秋や泪流さずしかすがに夕べの空を見て立てりけり　京城　久保操

（二點）
罪ふかき此の世渡りと悔ゆる時心に秋の風しみ渡る　龍山　岡本小草

（一）
かたくなの心は悲し行く秋の夕べを森になつかしむかも　京城　小谷津鉄峰

（同）
這ひ出る月の出頃のさびしみをわれも吸ひゐぬこま國の秋

日報詩壇

○金剛山游草　横田天風

寒假溪途上
白雲繚繞失崔嵬。噴雪奔湍欲起雷。嵐氣襲人淸于水。松聲催送早秋來。
評曰　爽快

山中
溪聲如雨響潺潺。柵上閑雲往又還。絕壁到處題名遍。只愁亂劍汚靈山。
評曰　靈境題壁鮮人之惡弊

新萬物相
振衣長嘯立仙巖。亂立危峰競劍鋩。云是金剛最奇絕。架雲天柱破波帆。
評曰　奇景可入手畫

◎緊急廣告

東洋拓殖株式會社理事井上孝哉、林市藏、村田俊彦の三君這度辭任歸東せらるゝにつき左記方法に依り送別會相催度候間御賛同被下度候

一日時　十一月八日午後正六時
一會場　花月樓
一會費　金五圓
一申込場所　花月樓又は長谷川町銀行集會所

○注意　會場準備の都合有之候間必ず來る七日迄に御申込相成度候

大正五年十一月六日

發起人（いろは順）
石塚英藏　原田金之祐　萩谷籌夫　趙重應　趙鎭泰　白完爀　小原新三　荻田悦造　岡正矣　金谷充　高野省三　松永武吉
馬詰次男　牧山耕藏　藤川利三郎　古海嚴潮　小宮三保松　國分三亥　秋山雅之介　阿部充家　木村雄次　白水淡　鈴木穆

日鮮人向
漆器指物　家具膳椀　重箱鏡臺　卸
朝鮮京城壽町
（五）丸五漆器
電話一一七四番
京城振替三五九番

新刊書御案內

書名	著者	定價
謠曲大辭解 全	木村、井上、本居共著	特二、八〇
名著泰西 危險なる年齡	蘇武、岡田共譯	一、二〇
同 印度文學史	矢崎美盛	一、五〇
市町村辭典	杉野耕三郎	一、〇〇
小學教科英和新辭典	佐久間信恭	特九〇
人生の快樂	大內青巒	一、二〇
帝國南進策	副島八十六	一、〇〇
最新奇襲大英國の危機	宮家流男譯	七五
奥様園藝十二ヶ月 上卷	千葉	一八五
柿本人麿	尾山篤二郎	六〇
小說鹿の子しぼり	北島春石	六〇
長篇講談羽柴筑前守	揚名舍桃李	三〇
必ず利くチラシの撒方	清水正己	八〇
大正六年度東京遊學案內	希望社	五〇
最新かるた競技秘訣	淵野颯月	三〇
新式圍碁寶典 第四	鈴木爲次郎	六〇
大正六年當用日誌懷中日記		各種

澤山著荷致候

大阪屋號書店

實業之日本

俸給生活者の利殖法
貯金をするか　貸屋をするか
青年の指導
○九割減資の大英斷で復活した會社
余が小學校長となつたわけ
○有利なる山葵の栽培を勸む
○人工にて食慾增進する法
粗製濫造防止策如何
△官設檢查所設置
△同業組合の力
△臺灣銀行の實驗
目醒し米人魂　浮田博士
○東拓新總裁石塚英藏氏
○投資せよ支那の大富源
飽迄希望に生きよ　新渡戶博士
○百折不撓の精神を行つた青年美談
○新聞賣子「創痕」の一篇を見よ
銀行善惡鑑別法
三版出來　有効生活

實業之日本社

東京藥學講義錄
藥劑師志望にて通學の餘暇なき者は速に入會せよ本會は充分其目的を達せしむ
會員募集
講師　飯盛ドクトル　有賀藥學士　鶴谷藥學士　望月藥學士　野口文學士　村山藥學士　大河藥學士　小島藥學士　稻田藥學士　各學科を分擔署名執筆
此際大特典提供
東京藥學會

一九一七年度　海外新聞雜誌豫約期

歐洲戰は今や蔗境に入る、聯合軍勝つ乎、獨墺軍勝つ乎、如何に終結する乎、如何なる平和協約が締結せらるゝ乎、一九一七年度の歐米新聞雜誌は是等の記事論策を充たして未だ曾て聞かざる空前の盛觀を呈するならん

見本店頭に陳列致候間御一覽被下度
猶改訂目錄御照會次第送呈仕候

東京市日本橋通
丸善株式會社
大阪市心齋橋筋　京都市三條通
仙臺市國分町　福岡市上西町

◎ヒ氏關稅問題演說

ヒューズ氏は四日夜を以つて選擧競爭運動を終りたるが其の輸入稅問題に關する演說に曰く今や各國は各自の產業を保護するを要するの時到る可きを豫期しつゝあり而して其の剩餘の生產品は必ず米國市場に向つて陸續輸出を圖るに至るべし此の際米國勞働者が外國の競爭に屈伏せざるを得る唯一の要訣は關稅を改定するにあり（紐育電報）

◎外交總長承認提出

北京政府は伍廷芳を外交總長たらしむるの承認案を四日夜議會に提出せり（北京特電）

◎伊軍健鬪陣地奪取

伊國半公報に曰く北カルツに於ける伊軍第十一軍團は引續き奮戰三日東方に進出し更に北方に行進して敵の死守せるフェニート山上の要害を攻擊し更に迂回して東南方より要害を强襲し鞏固なる數個の防禦陣地及び突出部を奪取し捕虜九千四時榴彈砲十門及び彈藥を鹵獲し外に機關砲を獲たり（倫敦電報）

◎宮中午餐會

既報の如く　天皇陛下には六日正午千種間に於いて午餐會を開かせられ閑院、宮東伏見、宮李堈公三殿下を御召の上波多野宮相、長谷川朝鮮總督其他上京中の朝鮮總督府諸官に御陪食仰付られたり（東京特電）

◎兩元老の參內

天皇陛下には七日大演習地に行幸あらせらるゝに付大山松方兩元老は六日參內天機を奉伺せり（東京特電）

◎寺內首相陪觀

寺內首相は七日午前七時東京驛發御召列車に陪乘西下し名古屋にて天皇陛下に御暇乞を願ひ同地より宇治山田に赴き神宮を參拜し八日同地出發十日臘岡著御著輦を奉迎し大演習陪觀十九日歸京の由（東京特電）

◎本野子親任期

十九日東京著の豫定

駐露特命全權大使本野一郎子は丸毛臨時代理大使に事務引繼を了したるに依り夫人同伴七日午後七時露都出發西伯利亞經由歸朝の途に就く筈なるが十九日午後八時三十分著京の豫定なり斯くて寺內首相は宮中の御都合を伺ひ御差支なき限り二十一日親任式を行はるゝ順序なり（東京電報）

◎吉長鐵道借款

吉長鐵道借款は日支兩國當事者に於て協定の結果借款額を八百萬圓と決定せり（東京電報）

◎李堈公御發期

上京中の李堈公殿下には來る八日午後七時東京驛發列車にて御歸鮮相成る由（東京特電）

▲本田府尹視察　本田平壤[illegible]の下南[illegible]平壤[illegible]護士森[illegible]氏は[illegible]び官民の見送り盛なり[illegible]谷第一部[illegible]多數殊に地方よりの出席者もありて[illegible]評會[illegible]公立普通學校にても秋季大運動會[illegible]

▲女學校林業　[illegible]

◎關長官一行出發

入京中の關李王職長官、金事務官及び謝恩使一行六日夕東京驛發歸鮮の途に就けり（東京電報）

◎李伯福岡行

李完用伯は六日午後四時東京驛發福岡に向ふ（東京電報）

◎兒玉伯出發期

兒玉內閣書記官長は八日午後四時東京驛發渡鮮に付左の辭令ありたり（東京特電）

內閣書記官長　兒玉秀雄
朝鮮へ出張を命ず

◎辭令

六日左の通り辭令ありたり（東京特電）

例外朝鮮駐箚師團副官陸軍步兵少佐　大藤直一
免本職補元帥副官

步兵第六十四聯隊附陸軍步兵中佐　齋藤義夫
命陸軍省軍務局御用係
免本職補朝鮮總督專屬副官

◎北滿洲に於ける朝鮮米

長春鮮銀支店調査

長春並に哈爾賓地方に輸入せらるゝ米穀は殆んど全部安東地方並に朝鮮產米にして是れが荷爲替取組は主として朝鮮銀行を經由しつゝあるが今鮮銀長春支店に於て調査したる長春地方に於ける輸入米狀況を聞くに長春地方に於ける大正四年四月より本年三月に至る一年間の爲替取扱高は到著二萬零六百餘石、通過二萬八千九百石、合計四萬九千五百餘石を算せり、而して地方に於ける需要狀況を推算するに

▲日本人居住者　の消費高は四千五百石內外に過ぎずして他は支那人に需要せらるゝ者の如く日本人の消費高の約四倍に相當し哈爾賓地方に於ても支那人の需要多額に上りつゝ有り元來朝鮮米が支那人側へ販路擴張せられたるは昨年十一月以降にして此れ昨年南北滿洲を通じ特產物の作柄不良なりしを以て自然彼等の常食物たる高粱粟等の騰貴せる一方米價格安なりし爲支那人にして米食を爲す者漸次增加し精米の輸入を誘致したる者なるが如し哈爾賓地方も又同樣の事情の下に輸入激增したるが同地方は比較的生活程度高き爲め寧ろ特等米の需要多き位にて爾來米食は

▲長春哈爾賓　一帶の地方支那人の嗜好に投じたる者の如く輸入數量逐年增加し今や上海米を全く驅逐し了りたる者の如し過去一箇年間に於ける輸入の狀況は前記の通りなるが然らば今後果して鮮米は支那人の常食物として引續き現今の勢を以て販路を擴張し得るや否や俄かに斷じ難き問題なれ共要するに彼等が從來常食とせる高粱粟等に比し鮮米の美味たる事を知りたる今日に在ては著しき米價騰を見ざる限り且つ各自の經濟狀態の許す限り已に多少習慣となり初めたる米食を廢して高粱、粟等の舊態に復するは困難にして容易に行はれ難き事なり如斯

▲鮮米の需要　は獨り日本人支那人のみに止まらず露西亞人支那人に歡迎されるゝに於ては今後長春、吉林哈爾賓等は勿論其他の地方に向つて販路を擴張し得るは瞭かなる事實にして鮮米の前途頗る注目に值す可き者あり支那人に對する當地の取引慣習は多く現金取引なりしも目下競爭の結果一箇月延取引となりつゝ有るが如く從つて仕向地よりの荷爲替も參著手形漸次減少し一箇月延取引多數を占むるに至れり價格の中には長春著値を以て賣買契約をなせども多數は仕向地直値（驛乘值段）を以て賣買契約となせり輸出業者の心得べき注意事項としては當地同業者少數なるに反し仕向地並に仕向者多數なる爲め此の事情を利用して一仕向地一精米所より一時に僅少の數量の懸賣をなすとするも各地各精米所の分を合算せば一輸入業者の

▲負擔する債務　比較的多額に上る惧れあるは勿論手形往々不渡となる場合あり、轉賣に關しても販賣業者少數なるが爲め不利の場合多ければ積込品が見本品と相違せざる者を差向ける等、荷物引取に際し苦情起らざる樣出來得る限り注意する事緊要の事項ならん、殊に最近東清鐵道輸送力不足なる爲め寬城子驛に連絡貨物の停滯する者少からず其の爲め著貨約定日を過ぎ苦情を惹起する事頻々たる狀態なるが或る當業者の言に依れば此輸送の點につき充分の

▲的確の手配　なき限り哈爾賓商人と直接の契約をなす事は危險少からずとす可く殊に初めより苦情を提出して奇利を博せんとするやの傾向ありと言へば在哈爾賓猶太商人の注文に對しては深き考慮を拂はざる可らず因に長春地方輸入物は一叺三斗入なれど哈爾賓地方に於ては一布度單價を以て賣買慣習となれる爲め一袋二斗二升入（五十四斤五二布度入り）が便利とする者の如し

◎水產製品勃興

江原道六郡水產品評會に出席せる庵原水產技師談

江原道沿海六郡水產品評會に出席せる庵原水產技師の歸來談に曰く、本會は之れが三回目にて今度は蔚珍に開催せられしが

▲出品の成績　は前二回に比し遙かに優秀にして改良進步の跡見る可きものあり、殊に本道に於ては從來見るを得ざりし水產製品にして改良獎勵の結果新規に現れたるもの多く且つ其の內には支那貿易品の尠からざるは慶賀の至りなり、例せば干鱈の製造事業は三年時に於ては漸く長箭に內地人唯だ一人經營せるに止まりしも現今にては大規模の工場を有するもの三、其の他杵城、襄陽、江陵各郡に於ても亦所在に其の製造所を見受けらるゝに至れるのみならず朝鮮人亦之れに從事するもの頓に增加し來れる結果鱈の漁業は次第に開拓せられ從來の漁期は十月より翌年二月までに止まりしに今日にては七八九の三箇月を除く外殆ど終年漁業を見るの狀況にして製品額爲に激增し同會に於ける出品點數の如きは五十點に餘れり、又明太魚は之れ朝鮮固有の製法のみに限られしも近く

▲乾鱈の製造　に伴ひて開き乾の製造開始されたる爲め其の製造期は毎年十一月下旬より翌年三月までの期間にして凍乾製のみなりしも今日にては十月より翌年五月迄の間に於て更に前記開き乾を爲すに至り明太の利用上一新生面を開けり而も此の二製品は鮮人の需要に供する外貿易品として盛に支那に輸出せらるゝ爲尙貽貝の如きも今や各地に之れが製造を見るに至り海藻類も亦從來は若布、石花菜の外採取せざりしが近時海蘿、銀杏草、鹿角菜、百疋、海苔、甘苔等

▲糊料の海草　採取殷賑を告げ漁村の老幼婦女は爲めに好適の職業を得るに至り採取量多き地方は一村にて二百圓以上に達すること珍しからざる狀況なり、斯くの如く同會は新製品の出品極めて多數に上り爲め參觀者を刺戟する所鮮少ならず今後の水產業界に貢獻する所思ひ半に過ぐるものある可く、殊に今回は農產及び畜產品評會、教育品展覽會等亦同時に開催せられたる爲め頗る盛況を呈し一僻地たるに拘らず五日間の開期に於て一萬七八千名の觀覽者を得たるは同會の爲め欣幸に堪へざる所なり

◎大豆運賃問題

聯合協議會を開く

仁川商業會議所評議員同穀物協會役員並に鎭南浦沙里院の各團體代表者等は五日午後三時より仁川商業會議所樓上に於て大豆特定運賃問題に關する聯合協議會を開けり來會者は仁川商業會議所評議員十五名同穀物協會役員七名鎭南浦商業會議所堀書記長新井、加藤、速見の各團體代表者沙里院松本實業協會長等約三十名にて定刻に先き達ち稻田仁川商議副頭取より鎭南浦並に沙里院の代表者に對し一場の挨拶あり了つて和田仁川商議書記長の指命にて稻田副頭取を座長に推し開會劈頭和田書記長起つて大豆特定運賃撤廢問題の開始以來仁川商業會議所に於て執り來れる運動の經過を報告し且つ其の結果として長谷川新總督の著任を期し京城に各地商業會議所聯合會を開き新總督に敬意を表すると共に議題として本問題を提出し飽く迄目的の貫徹を期す可く之れを當評議員會に於て決議し併せて各地代表者の同意を求め度き旨を述べ之れに對し新井、堀、加藤、松本の諸氏は各團體を代表して交々其の意見を陳べたり、即ち吾人が鐵道局より共益社同樣特別の恩典に浴するは甚だ不可なり若し或者にして一度之れに均霑せむか第二第三の共益社相踵いで現はる可きは當然にして爲めに生ずる弊害鮮少ならざる可し萬一均霑を受くる場合に於ては其の大小如何に拘らず代表者全體悉く共益社同樣の取扱を受けざる可からず然るに鐵道局が聲明する如く滿洲大豆に對する政策上當業者に其の特典を與ふとせば鐵道輸送力の充實せざる今日短距離の割引を爲して港灣を利用し比較的大資本を要する港灣地の同業者をして活動せしむるに至る可し斯る方法にては到底協定に應ずる能はずといふに在りて其の意見は全然一致せるより稻田座長一先づ休憩を告げ聽で再開更に其の運動方法として六日新井氏は鐵道局より會見を申込まれたるに付き出京の上鐵道局及び山縣政務總監を訪問するを以て之れと同時に仁川よりも稻田、坂倉、和田、有澤の諸氏相携へて上京し政務總監に對して該特定運賃の撤廢を請願することゝなし午後八時散會したり（仁川支局）

◎前重役退京期

東拓前總裁吉原三郎氏は目下病中にて歸東船車の途中も頗る難澁なるべきが前理事たる林市藏井上孝哉兩氏は吉原氏をして獨り長途の旅行を爲さしむるに忍びずとて來る十日頃吉原氏と同道東京に向ひ發する由にて又村田俊彥氏は前三氏と殆ど同日發支那を經て東京へ歸るとの事なり

◎十月鐵道營業成績

十月中に於ける朝鮮鐵道運輸成績を聞くに左の如し

		（前年同月に比し增減△減）
乘車人員	四九、三三九人	△一二、二七八
小荷物斤數	一、〇七一、二五〇	△一五五、八八三
貨物噸數	一六九、三六〇	三一、八四三
客車收入	三四〇、九四一圓	△一一〇、九〇八
貨車收入	四四〇、八三四圓	五七、二八九
一日一哩平均收入	三三圓三三	△二圓二一

◎鮮銀券發行高

朝鮮銀行券の十月二十九日より十一月四日に至る發行高左の如し

總發行平均高	三六、九二七、二四七圓
內	
正貨準備發行平均高	一二、三五四、五二九
保證準備發行平均高	二四、五七二、七一八

◎膳判事渡歐期

豫て歐洲へ出張を命ぜられたる高等法院判事膳鉦次郎氏は本月中出發の筈なりしが其期少しく延期して愈十二月初め出發することに決定したりと

◎三農學校生徒入京

宮崎縣立農學校職員生徒一行卅五名は七日午後八時開城より大分縣立農學校職員生徒一行二十七名は同日午前六時二十五分大邱農學校職員生徒二十五名は水原より同七時二十分南大門驛著列車にて何れも入京原金旅館に投宿す

野火百里（第十四信）

翠花

○政治上の經綸より成りて不毛の裂野を突つ走る列車は無人の境を往くが如くにあらずして全然無人の境を往くなりけり、齊々哈爾以西、博克圖、海拉爾を經て滿洲里に達する八百七十六露里に亙る一面の荒蕪地は枯草より外に眼に進るものも莫し、或は興安嶺の餘脈小波爲して或は近く或は遠く蜿蜒し、左の方蒙古の領は茫として漠として所謂島に隘なく花に色なきもの、滿洲里驛の少しく東札賴諾爾に至りて始めて地に褐炭を產するを見るのみ。

○齊々哈爾驛を稍西に離れたる邊より此枯草の平原は所々に火を放たれて烟の立つを見しが車の進むに隨つて火漸く大にツルチハーを過ぎジャントンを經るに至りて烟烟四方に漲り宛然火海を航するに異ならず眼界の及ばん限り近きは牡丹の如く遠きは躑躅の如し、夜に入りて博克圖驛より顧望すれば興安の丘陵に幾十萬の寄手が篝火して威を示すが如く、幾百萬の市民が提灯行列して祝意を表するにも似たり、一粒の粟、一塊の馬鈴薯を產せず人烟絕無の荒野なればこそ斯る壯觀も八些夜に亙りて演じ得べけれ、若し釜山より京城を經て平壤に至る沿線見渡す限りの山河が悉く燒かれつゝありと假想せばいかに我等が眼前に展開されつゝある光景の雄大なるかを忖度し給ふに餘りあるべし。

○午前三時半列車內の三階より下りて來りて驛站のプラットフォームに立てば滿天の星斗闌干として小雨頻りに降る、天に星ありて地に雨あるも西比利亞の空なればなり

○午前九時滿洲里驛に下車す、地堅く凍りて寒威强し（廿三日）

人事消息

▲吉田茂氏（安東領事）入京中の處六日夜退京
▲境喜明氏（京畿道警務部長）輕微なる腦充血症にて二日より自宅引籠中
▲プレイス氏夫妻（米人）六日夜入京朝鮮ホテルへ

南言北語

▲頑固と云へば徐州の先生が今日の處世界に知られた頑固の標本だが▲上には上があつて希臘の頑固王も却々敗けない頑固振りで徐州よりは上かも知れぬ▲其處でお仕舞には內輪喧嘩を始めて王軍は革命軍と一と合戰やらうと云ふ勢▲頑固も斯うなれば立派なもので恐入るより他にない其處で見ると徐州の先生は利口だ▲贅品禁輸で大分參らされる今度は莫大小で首を絞めらるチト御親類甲斐がなさ過ぎはすまいか▲當方では印度邊の夜番も勤めれば御依賴に應じて在留敵人も苦めて居る▲殊に支那長江一帶で日貨が發展すると妙に燒餅を燒く之れぢや割合にならぬ話だ其處には何とかあり相なものだがなあ▲去る二日長逝した九州の名物男貝島炭鑛王は頭山滿氏を鰻のやうな味だと評した丈け自身も大分の豪傑であつた其處で頗る振た話も多い▲何時か東京へ行つた時小楊枝が馬鹿に氣に入つて早速番頭に三十圓を渡して『お前是で楊枝を買つて國許へ送つて吳れ』▲炭鑛界の奇傑麻生太吉が窮境に陷つた時貝島の口添で三井へ鑛區を買つて吳れた謝禮として一萬五千圓の指環を送ると貝島先生鳥渡見た丈けで一週間餘りも床の間にうちやつて忘れて居た▲斯う云ふ豪傑にも似ず旅行は大の禁物だつたが或時謎な上海に引つ張り出された▲船中で貝島の姿が見ねなくなつて探して居ると大勢の洋人等に取り圍まれて平氣で淨瑠璃を唸つて居たので同行者は吃驚した▲洋人等は何か悲しい事があつて泣て居ると思つて大に同情して居た事もあつた相な▲兎に角愉快な男だつたが惜しい事だ

○小原烏兎子の榮轉を祝す　雉子郎

木の實袋に滿ちて上げられしと聞きにけり

◎新學期開始
短期速成 建築科講義錄
◎會員大募集
▲僅に一年にて建築の奧儀を極む請ふ見よ斯界の大家執筆
▲會費は低廉比なし 講義は平易明瞭にて實用的也
▼見本付規則書申込次第進呈▲此際入會者に種々特典有
東京麴町區飯田町三 帝國工業教育會

御待兼ねの魔法瓶來れり!!

圓筒形二合　一圓九十錢
七勺皮付　二圓三十錢
水筒形二合　三圓六十錢
七勺皮付　二圓四十錢
四合瓶皮付
乳德利型　六十錢
京城本町二丁目　熊平支店　電話六二四番

十一月號 大改善 內容より
世界公論
滿鮮の表裏　社長 安藤音三郎
長壽健康の秘訣　醫學博士 遠山椿吉
日露側面史　樺太事件 大津事件
新內閣を評す
對外貿易振興の好機　問題の九頭顱……愛澤寧堅
小寺謙吉、犬養毅、大隈侯、早川千吉郎、尾崎行雄、浦子、若槻禮次郎、元子、大石正己……
日露漁業問題に對する暗示　倉尾溜潮
藥草栽培と採收の急務　本庄養夫
元老の横暴と現閣の運命　社說
新女總まくり　渡野刈音
小說 眠り行く女　小宮すみ子
定價一冊十九錢 送料共　東京小石川大塚 世界公論社 振替東京二六八六

海員募集
最新の航海に關する學術を通信教授し養成す卒業者は各社汽船へ直に乘船せしむ四ヶ月卒業會費二圓四十錢校則進呈
▲東京芝區愛宕町 帝國航海通信學校

咸鏡北道清津府賓町
本材 竹材 穀物 セメント 繩叺筵 商
伊東商會 「電話六二番」

一支那領豆滿江木材各種販賣
紅松杉松角材廿一尺以上三十六尺延丸太材各種入荷本年は各河川本支流共減水甚敷一本流しを以て流下し今後年內著荷數千本著荷す
當商會は千古未曾て斧鉞を加へざる汪青縣の大森林地域數ヶ所に伐採場を特定し約三倍の運材費を投じ專ら雄幹良質の選伐を爲すが故に卓絕なる優良品として疾くに其名を謳らるゝに至れり
價格は他品と大なる差なく徒に其聲の安きに似て製產額少なき不良材よりも採算上寧ろ利得なり
本年は更に數ヶ所の伐採場を增設し紅松杉松 落葉松 白楊胡桃楓楢木材の搬出の準備を爲す
當商會は從來渾春土里に出張所の外新に大阪市南區木津川一丁目に出張所を設置し內地は勿論海外輸出の目的を以て販路擴張に努む又落葉松紅松の丸太材は長八十尺迄の引受を辭せず尤も特種品は御注文に依り短尺もの又は經三尺乃至五尺內外長四十尺前後
御注文にあらざれば伐採せず
一日貳拾五萬才以上の賣買に付ては特に割引をなす

日韓書房 新版報告
佐々醒雪編 索引 三句 俳句大觀 定價一圓六十錢 送料十二錢
久保田萬太郎著 駒形より 定價七十五錢 送料十錢
小林一郎著 日蓮主義講話 定價一圓卅錢 送料十二錢
小波著 新家庭 女子供の卷 定價九十錢 送料十錢
杉野耕三郎編 市町村名辭典 定價一圓 送料十錢
京城南大門通二丁目 振替京城二四五 電話二一五番

大阪金物新報
新年號（松竹梅三卷）のみ入用の方は壹圓
金屬に關係ある方は讀め 一ヶ年前金四拾錢の方に限り三圓と郵稅五錢 大割引
▲定價半箇年壹圓二十錢 發行所大阪市 大阪金物新報社 振替大阪二一六〇 電七四六

▲税關長去來 鎮南浦税關長手嶋氏は四日午後三時來壤旅館柳…に投宿翌五日赴任せり▲森辯護士…任の途に就けり

▲原長官送別會 …農商工部…別の意を表す八箇…三時夫人同伴自動車にて赴り公州の屋に於て送別會の催しありたるが土林新長官を始め官民一…

▲後援の手振 安邊 ▲農產品評會開催 …十日より十二日まで三日…開催し…總會を道廳內廣場に…愛國婦人會安邊…

●コレラ彙報●

…二日は褒賞…式擧行の筈…

▲鎮海の警戒 …四日より八日…させし鎮海の…加德方面に新患…一度終熄せん…

▲全道虎疫累計 五日調査に係る朝鮮全道に於ける虎疫發生累計は一千七百二十…名にして內內地人…道警務部に於て四日コレラ患者七名發生し內一名は既に死亡せり（大邱）

●仁川港內の鼠征伐

百五十俵のコークスを使用 徑三寸のホースから毒瓦斯注射

仁川警察署では五日からペスト豫防上港內艀に棲息して居る鼠族の大征伐を開始した、仁川には慶田、朝日、福島、高杉、木村、大和組等の所有に係る常時在碇の

■艀が百五十艘 許ある警察署では此等の艀を連絡桟橋前の海際に集めて船艙內から食料品やマチ等の類を搬出させた上殺鼠船の艀に二艘づゝ横付けて直徑三寸許あるホースを船艙上に突込みコークスから發生した濃密な毒瓦斯を注入するのであるから、如何に

■敏捷電の如き 鼠族でも悉く斃死して了ふ五日は十艘の中から五頭を發見し六日は正午迄は一頭も得られなかつたが、波は穏やかに風は無く、絶好の日和とて豫定の艀數の約二倍は作業が出來る見込みであるから十頭や二十頭は獲られるだらうとの事であつた、只此處に係官も船頭連も不思議として居るのは、前日迄

■五頭も六頭も 船艙內にチヨロ〳〵して居た鼠がいざ退治となると殆んど姿を見せなくなつて了ふ事で船頭の如きは鼠は火事のある事を豫じめ知ると言ふ程であるから必度警戒に依つて危險が迫つて來た事を感じて何れにか逃げ去るのであらうと言ふ意味の事を言つて至極神秘がつて居た、警察署では

■毎日十隻平均 毒瓦斯を以て驅除し十五日間で全部を終る豫定であるが此れに要するコークスは百五十俵を計上し數名の警官は毎日シャツ一枚になり瓦斯の填充を終つた船艙に潜り込んでは斃鼠を發見して之れを檢疫部に送り檢疫官は一々菌の有無を試驗して居る

●ドシ〳〵撲殺

犬は今が最も危險

狂犬病の豫防に就て 隈部京畿道警務部長談

狂犬病は四季通じて多少は發生することあるも主として、犬の發情期に起る病氣である若し之を等閑に附する時は烈しく流行を爲し人畜に被害を爲すこと尠くない此病氣は即ち犬の傳染病であるけれども若し人畜が之に咬まれると狂犬同樣の症狀を呈し狂ひ死にゝ死する樣であるから誠に恐るべきものである、故に警察署では人が犬に咬まれたと云ふ事を聞き又は被害者より其訴へある時は直ちに

◆獸醫を派遣 して果して其犬が狂犬病であるや否やを檢診せしめ狂犬病である時は畜犬たると野犬たるとを問はず撲殺する又狂犬病でなくとも常に人に咬み付く樣な癖のある犬は危險であるから撲殺することになつて居るそこで狂犬に咬まれた人はどうするかと云ふに之に對しては豫防注射をする事は皆人の知つて居る通りである當時は丁度犬の發情期であつて全體に犬の精神狀態が興奮して居るから兎角性質があらくなつて居るそれ故少しでも

◆犬の機嫌を 損すると咬み付きたがる勿論子供抔が石を投げ付けたり棒で打つたりして此方から手出しをして咬まれるのもある故咬み付く犬が必ずしも全部狂犬ではないが昨今は時々眞症の狂犬を發見するゆゑ最も犬に對して注意を要する時機である狂犬病の豫防にはどうするかと云ふにそれには獸疫豫防令又は畜犬取締規則等の規定があるが要するに犬が人に接觸する機會を成るべく少なくすること及犬の數を成るべく減少せしむる事が必要である犬が人に接觸する機會を少なくするにはどうするかと云ふに一般の飼犬は交尾の時期を過ぎるまで飼主の家に

◆繋留して外へ 出さぬ樣にするのである犬の數を減少せしむるのであるから此際警察署には此二つを勵行せしむる積りである飼犬を繋留すると云ふ事は犬の自由を束縛し犬に對して聊か氣の毒ではあるが公衆の危害には代へられぬ又飼主の義務であらうと思ふ一體飼犬の中には飼主の家はそこのけにして近所の家の庖厨芥溜等をあさり歩くのが澤山あるようであるが是等は飼主の飼養法其宜しきを得ぬのではないかと思ふ又飼主ある犬であつて警察署へ規定の屆出なく又は頸環票札等のないのが少なからぬ樣であるが是等は此際

◆野犬と看做し 撲殺する筈である警察署では府廳と共同して犬籍を取調べ飼犬であつて屆出のないものは規則に依て處置するは勿論府廳では飼養の初めに遡り徴税する事にして居る茲に注意して置く事は前にも云つた通り子供等に犬に石を投げたり棒で擲つたりする樣な惡戯をさせぬ樣にして貰ひたい犬に咬まれるものゝ多くはこちらから仕掛けるのである又犬に咬まれた時その犬が全く狂犬でないときは差支ないがもし獸醫が見て狂犬に疑はしいとか又は眞症の狂犬であつた時には早速豫防注射をせねばならぬ豫防注射はいつでも總督府醫院でやつて貰ふ事が出來る又貧困者は警察醫で無料注射をする途もある

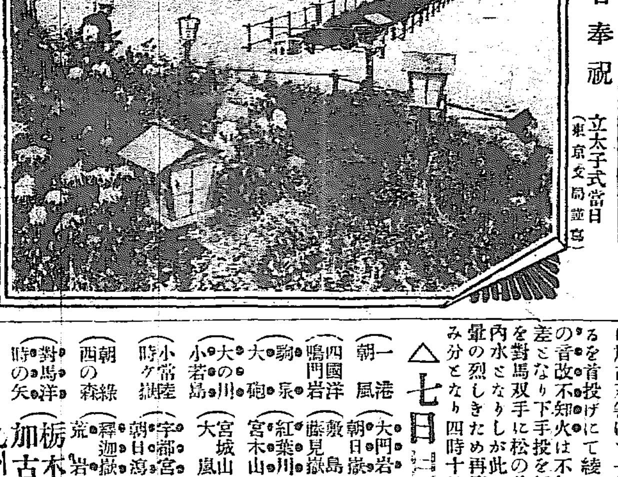
●青年鐵道自殺

何處の者とも判明せず

四日午後六時四十分大邱發同十時四十五分釜山驛着列車が通過後釜山鎭を距る約五丁の北方線路に身體を兩斷せられし屍體を發見したるより同地駐在所巡査は直ちに釜山警察署へ急報し同署松永巡査及び朱雀警察醫と共に臨檢せしに年齡二十六七歲の內地男子にて何れかの商店員らしく色白く肉付良く著衣は紺縞縦縞の袷に太柄の浴衣重ね同じ糸織の羽織友染モスの袖を付けたる襦袢を著し黑モス兵兒帶を占め裏に篠美と捺印ある鳥打帽子を冠り新しき下駄を穿ち懷中には金十三圓九十錢入の蟇口を所持せるも住所氏名を知るべき所持品なければ屍體は取り敢ず府廳に引渡し假埋葬に附したり（釜山）

▲身元判明す 右轢死を遂げし男は某役所に勤務せる福岡縣宗像郡上西郷村字上西鄕生れ篠崎美壽士（二七）と判明したるが同人は十月三十一日新婚したるばかりにて其の死因に就ては全く不明なり（六日釜山特電）

二重橋 立太子式當日（東京支局謹寫）



日比谷奉祝 立太子式當日（東京支局謹寫）

●清津蒼坪間 開通祝賀會

六日鐵道局にて清津蒼坪間試乘臨時列車を運轉せしが案內を受けし官民約三百名非常の盛況を呈したり蒼坪にては招待客に對し鐵道局の饗應ありて又清津府にては夕刻より歌舞伎座に於て開通祝賀會を擧行したるが來會者三百名寺內首相の祝電朗讀等あり頗る盛會を極む（清津特電）

東京合併大相撲

（六日午後十一時著電）

六日目も相變らずの好景氣にて相當の入を占めたり當日の勝負手捌き七日目の取組左の如し

△六日目勝負（○印は東京方）

勝 負 勝 負

○大鳥 だし 常千穗　男嶋 ○殿り
○一濱 だし 玉の音　○朝日嶽 だし 荒玉
○大門岩 小岩島　成瀬山 ○小綠
○朝日山 駒ケ嶽　逆鉾 海山
○大砲 敷島　紅葉川 ○玉手山
○常の花 朝日潟　五十嵐 ○朝綠
○宮木山 龍ケ崎　○大の川 金の花
○岩木山 大嵐　時ケ嶽 ○宮城山
有若　黑瀬川
○源氏山 大泉
○時の矢 九州山
○栃木山 千舟川　釋迦嶽 二瀬川
○伊勢濱 大門
○大錦 朝日山
西の海 荒岩

△中入後

○玉柳 大嵐　○島ケ崎 四國洋
○駒泉 矢　國見崎 初嵐
○土州山 玉櫻　日出山 小常陸

松の音 對馬洋

右の內有若に黑瀬川は黑の出ハナを有右に突して綺麗に叩き込む▼大泉に源氏山は一合して右四ツとなるや直ぐ掬ひ投げを打ちて源氏の勝

▼時の矢に九州山 はバツタリ右四ツ九寄進み强引の上手投を打つを時の矢も共に下手投を打ち返せば美事に極り時の勝は大喝采▼千舟川に栃木山は左四ツ千舟十八番の掛け投げに行くを栃木ウンと耐へて拔き上げそのまゝ持ち出して栃木の勝▼二瀬川に釋迦嶽は二瀬左を差して寄進むその手を取つてトツタリを打ち釋迦の勝▼大門に伊勢の濱は左四ツ吊身に寄り倒し伊勢の勝

▼朝日山に大錦 は仕切直す事十數回の後ち立ち上がるやバツタリ左四ツ錦吊身に寄り進み朝日が小手投を打たんとするを反對に掬ひ投を打ちて錦の勝▼荒岩に西の海は荒双筈にて押すを引き落して西の勝

△中入後 日出山に小常陸は鳥渡突き合ひ小常の突き進むを叩き込み日出の勝▼大達に宇都宮は右四ツにて小手投げを打ちて宇都の勝▲寒玉子に西の森は突き合ひ引落して寒の勝

▼加古川に綾川 は加古双筈にて一氣に押切らんとするを首投げにて綾の勝▼對馬洋に松の音改め不知火は不知火飛込んで二本差となり下手投を打つては寄り進むを對馬双手に松の差手を殺して防ぐ內水となりしが此の時不知火頭痛眩暈の烈しきため再度の立合を中止痛み分となり四時十分打ち出したり

△七日目取組（右東京方）

一港 朝風　大門岩 朝日嶽　朝日山 寒山　常の花 駒ケ嶽
四國洋 鳴門岩　藤見嶽　荒玉 龜鶴山　逆鉾 金の花
駒泉 大砲　紅葉川 宮木山　龍ケ崎 磐矢　朝成瀬山
大の川 小若島　宮城山 大嵐　岩木山 玉櫻　黑瀬川 大達
小常陸 時ケ嶽　宇都宮 朝日潟　寒玉子 朝千鳥　源氏山 日出山
西の森 朝綠　釋迦嶽 荒岩　綾川 大門　土州山 二瀬川
對馬洋 時の矢　栃木山 加古川　兩國 不知火
伊勢濱 大泉　九州山 朝日山　大錦 千舟川
西の海 有若

△松の音改名 大阪方 大關松の音は不知火と改名せり

△兩國出場 病氣にて初日以來休場し居りし東京方の飛將兩國は七日より病を押して出場する事となれり

えんげい

△川柳一座 既報の如く來る八日熊本大和座より京城に乘込み七日より浪花館にて開演すべき朝鮮…一座は落語界の寄席ばなし家家藝之助、落語夢の家市兵衛以下十餘名にして掛け合噺、手踊り等色物の取合せ澤山なる由

▲雷右衛門開演 浪花節東洋軒雷右衛門は六日より壽館に開演し同人一流の得意の咽喉を聞かせ居れり

▲黃金館 七日より特別寫眞として旁眷ねたる新寫眞の重なるもの左の如し 寶島カタロニアの風景▲滑稽ビル君の新兵▲教訓琵琶劇孝女お信▲探偵奇劇第三黑い箱▲新劇肥後の駒下駄全四卷

▲大正館 來る八日より旁眷ねの新寫眞は左の如くにして重なるもの左の如し △實寫オランダの風景△喜劇甘い茶△滑稽おヒーの藥劑師△新劇鬼夜叉丸全三卷△冒險活劇天空馬全三卷△新派家庭劇母と子全五卷

社告

天高くして馬肥えたり。月の十日大元帥陛下肥筑の野に親臨し特別大演習を閱させ給ふ。參加するの將士、警備以西九州の國軍全部にして今や西歐の風雲酣なるの秋、其教訓によりて得たる新戰術の下に幾萬の貔貅龍攘虎搏するの壯觀は、轉た、正平の昔、筑後川の役を彷彿せしめ將に鬼神を泣かしむるものあらん。乃ち本社は記者金谷眞を特派し、電報に通信に、其委曲を盡さしめんとす、希くは當日の紙上に待て。敢て豫告す。

京城日報社

朝鮮鑛業要覽 一部定價一圓廿錢 附圖朝鮮地質鑛產圖 京城日報社代理部、大阪屋號書店

京日案內 普通 普通一回前金三十錢 一番外一回前金六十錢 一五錢增 ▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

◎藥劑師入用 御希望の方は本人御來談被下度候 黃金町三丁目 小笠原藥房 663

▲標準かるた 一組八十錢 送料十錢 早取法十五錢 送四錢 京城本町 振二二二 ウツボヤ書店 591

◎店員及手代入用 靑葉町百廿番地 大橋大三郎 657

◎寫眞○開業五周年紀念大割引の上活動寫眞入場券進呈○天長節より 黃金町電話一四三四 高等寫眞館 616

◎譲店 櫻井町日拔の場所貸野菜店歸國に付居振の儘五十圓以下讓る（姓名在社）644

◎金融 月收の方に極秘信用貸又は立替等御報伺上來談更佳 本町電車終點花園町部 大和屋 634

番外

銃砲火藥 獵具 京城本町三丁目 電話二〇九二番 增戶銃砲店 488

貸家 京城永樂町二丁目七番 日本建平家五疊間取八疊四ツ六疊三ツ四疊半六ツ三疊二ツ 官吏向又ハ紳士住宅向 京城本町二 釘本商店 589

◎廣橋自働車 京城春川間每日午前八時出發 賃金片道四圓 南大門通一丁目 電話二一九番 主務 金正潤 630組

●はねつき（うちみくじき）等 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 584

鑛物分拆 金石商會 京城鐘路二ノ九九 鑛山測量（電話一八九九）夫れ夫れ專任技師に依り正確迅速 603

毛皮なめし並に仕立 612

鳥獸剝製調進販賣 京城本町二丁目電二〇六五 樽元商行

間合自働車 貸切 京城發前八時 春川發前八時 ◎京城水標橋通り 京春自働車商會 電話貳壹參八番 支配人 松田壽男 631

債券高價買入致します 勸業債券 貯蓄債券 地方債券 書留郵送次第代金差上ます 京城長谷川町五八（朝鮮銀行横）日本勸業銀行債券月賦販賣所 541

恩給年金 低利即時現金立替 短期無保險並に勸業貯蓄債券買入 京城永樂町二丁目（金光教北手）國江商會 543

園碁指南 出教授應需 本町二、黑川牛肉店角入る 林秀石 660

金融 月收の御方へ極秘に大小口共信用融通並に抵當擔保貸御報伺又御來談 大和町三丁目三二（柄澤の前）起木屋 659

綿ふとん 蒲團 貸蒲團も致します 極力安價御需用に應ず 京城若草町湯屋隣 取次電話二五四〇 ヒロセ 658

恩給年金立替 即時取引退隱料一切 利子年一割 京城櫻井町元祖（大正館向）博多屋本店 661

△獵期と魔法瓶 魔法瓶中瓶取替 京城本町一丁目 高木旅行用具店 662

□毛布二枚續き二圓五十錢以上
□專賣柳製鞄 皮より強く値が安い
△ふとんわた△魔法瓶中瓶取替
長さ 二尺四寸 二尺二寸 二尺
鞄製造販賣 旅行用具一切 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

板硝子各種 英國製壁紙 入荷 釜山本町 ㊤村上商店 電話五番

各種萬年筆即時修繕◎ 新式機械と熟練せる職工により如何なる部分も即時修繕仕候定價送呈 京城旭町二丁目六番地 東京パイン萬年筆出張所

米國組育スタンダードペイント會社製 ラバロイド 最上毛製屋根葺用 朝鮮總代理店 京城本町二丁目（電話長四五番、二七七四番）藤本藤次郎本店 振替貯金口座京城二五六番

●質屋開店御披露 謹啓各位益々御清榮の段奉賀候扨て弊店儀今て京城明治町（舊曙町）へ新築中の處今般全部落成仕本月二日より開店致候に付ては尚今後共一層御客樣本意にて親切確實に營業可仕候此段御披露申上候 敬白
尚完全なる倉庫の設備致候に就ては諸物品の保存は勿論火防盗難豫防上至極御安全に候
京城明治町二丁目廿一番（舊曙町）大塚質店 電話一八四九番
舊龍山元町二丁目（舊老松町）大塚質店 電話五六五番

優等清酒

京城永樂町二丁目 發賣元 本莊酒店 電話六五四番 振替京城二六〇番

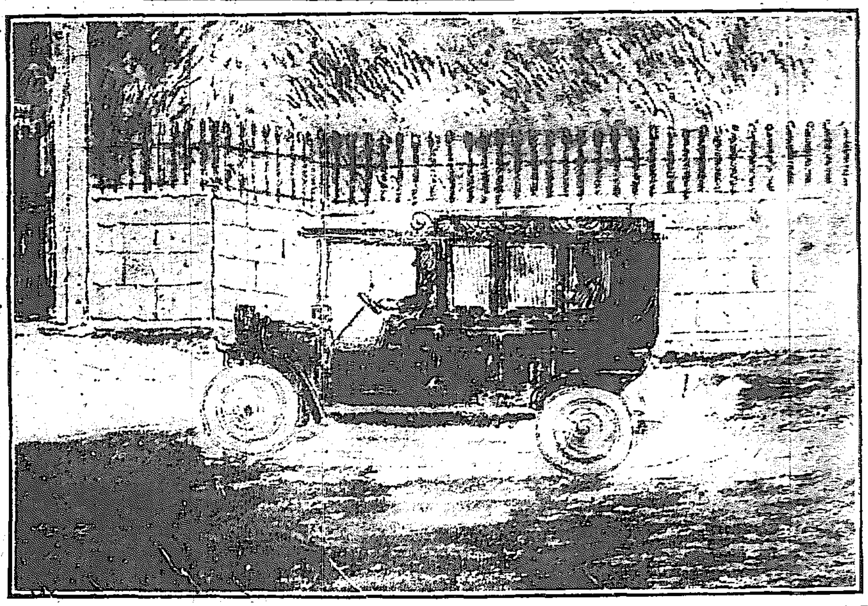
株式會社第一銀行京城支店 京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百六拾五萬圓
頭取 佐々木勇之助
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

眼科專門 江頭眼科醫院 京城明治町東拓横（電話二〇四四番） 日曜祭日午後二時迄

女鳩　渡邊默禪

『一五二』深夜の客

鄭子を封じ込んだ大河野邸の寶物庫は、厳粛なる滑稽を代表する平馬老人と、可笑味にみたされた悲哀の役者なる秀子との、双つの心が縺れ合つて暗闘する悲喜劇の、その中心に描かれた背景でもあるかのやうに、まだ芽ぐみもやらぬ春木立の庭深く白堊の壁を見せてちよこんと高く突立つてゐた。



平馬老人はその翌朝からお秋に吩咐けて、時分どきになると弁當を土藏の中へ差入れさせた。勿論戸の開閉は自身でして、何人にも鑰は渡さなかつた。夜になつてから木綿の夜具を一組入れてやつた。ちやうど同日、しばらく病氣で田舍に引込んでゐた下男の善八といふ男がすつかり快くなつて戻つて來たので其晩から土藏近くに假の番小屋を拵へさせ、徹夜で拍子木を叩いて邸内を見廻ることを申附けた。その上自分も屋敷に泊り合せ、折々巡邏するといふ厳重な警戒方。

秀子がどんなに烈しい苦悶に囚はれたかといふとは、翌日から頭痛がするといつて部屋に寢込んだきり、碌々食事もとらなかつた一事で想像がつく。お孝などはその部屋に出たり入つたり、青くなつて鬱ぎ込んでゐた。他の女中は薄々昨宵の騒ぎを知つてゐて、目引き袖引き、そつちこつちで窃々と囁き合つた。黒い雲が覆ひ被さつたやうに一家の隅々にまで、何となく恐慌の色が行渡つた。

そのなかで氣輕の活動をつゞけてゐるのが、新参者のお秋一人だつた。住江は不思議と容體を持直して、食慾も出れば元氣もついた。どつと引いたまゝ又た騰らなかつた體温は、焦れはてた顔色までも次第に榮わさせて來た。

『ちよいと住江さん、私驚いちまつてよ。まア何て猛烈〳〵しい女でせう。今日入れてやつた弁當を三度とも奇麗に食べつちまひましたわ。普通の人なら心配で〳〵、お菜一片喉を通ることもぢやないでせうに、あの食ひツぷりには真實に恐れ入つちまひますわね。この勢ひぢやあ、今に中から壁を破つて飛出して來るかも知れませんよ。』

夜更けてからお秋は住江の病床に入つて來て目を瞠りながらこんなことを言つた。住江は笑つて

『では大方やけになつてゐるんでせうよ。地體が大膽な女なんですからねね。もう破れ徹れ、どうでも勝手にしろと不貞腐れてるのよ、必と。』

『憎らしいのねね。明日ツから澤庵の尻尾を三片ばかりに、それから御飯にごてごてと唐辛子でも打かけてやりませうかしら。』

『オホヽヽ、なんぼ何でも……まア出來るだけ御馳走をしてお置きなさいよ。跡で大河野の邸ぢやア、あんな不味い物を食べさせたなんて、寄付かれるのが可厭ですから。』

『泥坊に御馳走、ほんとに此樣間尺に會はないとはありませんわね。』

と、二日目の夜十一時頃、慌だしい自動車の響が邸前に停つて、急いで飛下りた一人の紳士が表玄關に訪れた。それが親族にあたる鰭山子爵――鳩子の母香子は六條家の養女になつて、それから大河野家に嫁いで來たが、實は鰭山家の出である。子爵は香子の兄だ――だつた。

家扶の平馬は自身で出迎へて、取敢す客間に通した。鰭山子爵は驚くべき山形からの急電に接して、それを通知かた〳〵相談に來たのであつた。

外科 内科 花柳病科 皮膚科
院長 正六位勲四等 島崎龍一
島崎病院
京城旭町一丁目（本通りより左に入る） 電話二七三六番
手術室完設 普通病室新築

天長祝日吟行（俳諧散心 第十三回）

彰義門内

坂路登る薪積む家や崖紅葉　雨芒

門入れば必ず甕や砧打つ　田打夫

眼病む娘の窓に來る陽や柿赤し　青丘

城壁に凭せば野菊に蜂飛べり　浩一郎

小流に草の實赤し雀飛ぶ　虛中子

彰義門外

唐辛子多きは村の長の家　青丘

晩秋や石積み上げて豚を飼ふ　雨芒

山壺や秋の日浴びて巖に凭す　虛中子

洗劍亭

秋風や巨巖に彫りし字の在處　田打夫

流れ來て流れ去る水や秋の聲　浩一郎

岩洗ふ水に影落つ渡り鳥　青丘

水涸れて溪石脆し櫨紅葉　虛中子

五間橋

峽道や暮れを急げる鵙鳴ける　浩一郎

北漢山を望む

秋の水名所控へて採石場　雨芒

晩秋や大空の中の山鋭し　田打夫

▲たかし君「浩一郎」と改名す

婦人科 産科
二宮醫院
京城蓬萊町四一 醫學士 二宮亮吉 電話一二〇一番

新刊紹介

▲本邦人口の現在及び將來（法學博士高野岩三郎著）通俗大學文庫第八編にして本邦に於ける過去及現在の狀況男女の人口の都鄙及び動態の狀況、男女別、結婚、出産、死亡の割合等に照らして其の將來の趨勢をトし人口の増加と都會の發達に論及し結論として人口増加と食料品、人口問題と社會政策等に論明なる論評を加へたるものなり（三十錢東京市京橋區加賀町四通俗大學會）

▲中陽論（工藤武三郎著）第一編暦は從來の太陽暦及太陰暦を不完全なりとし著者の立案に成る中陽暦實施の必要を説きたるもの第二編は宗教論數章を收む（二十五錢東京市小石川區小日向臺町一ノ五三中陽舘）

▲萬世不易北斗中正暦　十二錢東京市小石川區小日向臺町一ノ五三中陽舘

商況

大阪三品特電

▲六日前場（後場未着）
十一月限　一九二.〇〇　一九〇.〇〇
十二月限　一九二.六〇　一九〇.〇〇
[illegible]

▲六日後場
▲兵庫綿布　十六圓五十錢　東京十七圓〇四錢　大阪前止十七圓七十八錢　後谷七十六錢の入船二飾八十四圓三飾八十八錢と更に新高値の移りに當地[illegible]

[illegible]

錫と新高値に迫みたるか聖より大利喰賣物現はれたると⊕ヽ匿心其他より賣物多く一兩日より優勢なる賣物現はれたると㊁ヽ營⓪其他より賣物現はれたる[illegible]
各千餘石等にて市場は人氣の動揺に逆れ大盛況を呈したり

▲宴の利喰賣　今後場引續き同店より利喰に賣りた[illegible]

▲㊦大に買ふ　上り買りたる玉數千五六百石に上りたりとの[illegible]

▲⑪能く買ふ　後場同店より買たる玉數八千餘石に上りたりとの[illegible]

▲豪南道大豆[illegible]

[illegible]

六日の一月限

[illegible]

お禮の爲め催す：ホーカー液の謎々懸賞募集

初冬の肌アレを防ぎ色白く美人となる……

懸賞

▼皆樣に…此の前に募集した『誰にも出來るホーカー液の懸賞四問題』は其筋の注意に依り中止致す事となりました、本舗では折角應募下すつた皆樣の御好意に對し改めて左の如く謎々の懸賞募集をする事となりました、振つて應募を歡迎致します。

■問題

（一）ホーカー液とかけて（何と解く）其心はなに〳〵

（二）此懸賞廣告を見た新聞の名

▼謎々はホーカー液の品質用途其他特長を上品に解いて下さい

▼新聞名は一つにして下さい

■賞品

賞品は皆樣にお禮の微意を盡す爲め、更に二倍に増加する事と致しました

●壹等　五十圓（五圓貯蓄債券一枚宛）十人

●貳等　上等反物（一反宛）廿人

●參等　ホーカー化粧品（一詰合）四十人

●四等　ホーカー化粧品（五十錢詰合）百人

●五等　ホーカー美髮液（一本）二百人

規定

一用紙　はハガキに限ります

一〆切　は十一月十日

一發表　は十二月初旬

一賞品　は發表後十日に送る

一宛名　は東京神田和泉橋ホーカー液本舗堀越嘉太郎商店懸賞課

▼ホーカー液はこれから多分に向ひ皮膚を柔らぐ學理上の作用で肌アレを防ぎ色を白く薄紅とした美顔とする家庭化粧料でございます

東京和泉橋　ホーカー化粧品　堀越嘉太郎　振替東京一五六番　電話神田 一二四四 二二四五

衛生必携品 ルーデサック
A十個四十錢 B十個六十錢 變形一個廿五錢 女用一個八十錢 上一割 引郵券代用一割增外に要送料
京城黄金町三 振替京城三二七番 山田文殊堂藥房

流經新藥 レスノリン
月經 閉止經過四五ケ月以内ニ應用ノ目的ヲ達ス 其流經作用ナルコト確實ナリ
藥價一瓶一圓 送費内地十二錢 海外廿錢 切手一割增 説明書三錢切手進呈
發行所 常盤藥院 大阪北區曾根崎上一丁目三六地 振替大阪六三〇番

面白い懸賞　當選發表

正解　一、蛇印　二、改良ねつさまし　三、新聞名

答案

過般募集の懸賞答案正解者の中より十月十七日各市内日刊新聞社員の立會を以て厳正なる抽籤の結果左記の諸君に當籤相成候に付賞品贈呈致候也

一等　銀側懐中時計　一個宛　五名

北海道勇拂郡苫小牧町　細川富士太郎殿　新潟市入船町（川上平太郎方）圭之助殿　大阪府枚岡中豊（三友商會方）田中隆殿　久留米市鋼工町　稻毛安太郎殿　東京本所區緑町三（鳥居きん方）きよ子殿

二等　英國製ハンカチフ　半打宛　廿名

京都府、長川榮佐男殿、東京、管井曾吉殿、小倉市、原江爾殿、磐城、深野瑞亮殿、大阪（森本方）内田幸殿、高崎市（澁澤廣吉方）下山保藏殿、福岡縣、新原八郎殿、（山城屋方）池田清太郎殿、石川縣、五間長治吉殿、岐阜市、北島左八殿、台南、提莫オ殿、（橋本壽市方）澤村市三郎殿、朝鮮、備前、石村英太郎殿、群馬縣、淺川むら殿、東京、（林文蔵方）志村國三郎殿、備後、池田武雄殿、京都府、松下貞藏殿、大阪府、石井嘉二殿、高知縣、（吉川方）淮健次郎殿、德島縣、清水邦雄殿、宮城縣、（丸山閣酒店方）管野安吉殿、大分縣、岡本亮之介殿、廣島縣、村上伯二郎殿、福井縣、藤原雨嶺殿、和歌山縣、吉岡直一殿、堺市、（淮辛方）もと子殿、釜山、（細部商店方）今川孫兵衛殿、神戸、（松田文蔵方）淑秋生殿

三等　ツバメ歯磨大袋一個宛　五百名

右當選者氏名は多數に付略す

▲當選者は賞品の到着にて御承知被下度

▲懸賞に關する御問合は往復ハガキに限

右之通發表仕候也

大正五年十一月　丹平商會藥房

病は輕き裡に治せ!! 藥は思立つた時買へ!!

最良のかぜねつ藥 イデアンピリン丸

はやりかぜ ねつ一切

全國各藥店にあり

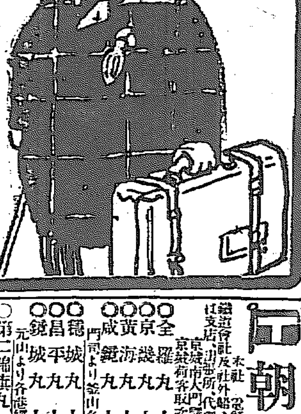
丹平商會本店 丹平商會支店

外科 皮膚科 瀬戸醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士 瀬戸潔
（電話二四九八番）
診察夜九時まで

消化と毒けし 仁丹

▼旅行に仁丹 イツモ愉快

金言　美服は價値なき人の肩に於て泣く（丁抹俚諺）

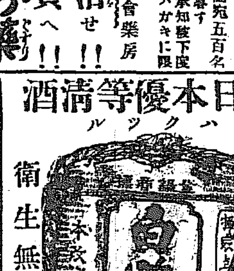


菊ならば黄菊しら菊。菓子ならば 森永ミルクキヤラメル

5—19　東京 森永製菓株式會社 大阪

大日本優等清酒 ハクツル

品質純良 衛生無害



醸造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社

發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四一二五番

製造元とのやくそくで 砂糖、麥粉、貨、金巾、燐寸、石油、洋蠟、鍋釜、紙、乾物、鑵詰、ビール、サイダー、葡萄酒、清酒、醬油、染粉、足袋、其他ノ日鮮人向雜貨食料品

割の安い品そろいの 大おしろ店

仁川本町 河野本店 電話二八番 振替京城二一一番

銚子港 田中玄蕃釀造 ヒゲタ醬油

代理店 京城明治町一丁目 櫻正宗 發賣元 山邑京城支店 電話八四九番

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行　○立神丸 十一月 日後五時出帆　○小倉丸 十一月 日後五時出帆

元山、淸津、浦鹽行　○立神丸 十一月 日後十時出帆　○小倉丸 十一月 日後四時出帆

元山、西湖、新浦、城津、淸津行　○第三琴平丸 十一月 日後六時出帆

門司、宇品、神戸、大阪行　○第三琴平丸 十月廿八日後六時出帆

佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　○天其丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆

本船取扱店 釜山港埋立新町 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神阪行
大有丸 十一月十日 後四時出帆
君か代丸 十一月十四日 後四時出帆
神吉丸 十一月 日 後四時出帆
秀吉丸 十一月 日 後四時出帆

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 杉回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
相模丸 十一月九日 正午出帆
高砂丸 十一月廿日 正午出帆
三河丸 十二月一日 正午出帆

仁川海岸通 電話十一番 堀回漕部

大邱浦項間自動車時間

大邱發 午前 一番 二番 … 浦項發 …
電話一一七番 大塚農場自動車部 大邱出張所

富の道しるべ

山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵税二錢

京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五・二一三番

京城南大門驛前 松原運送店（電話長一七〇番）

○全羅丸　○京畿丸　○黄海丸　○咸鏡丸　十一月十六日 十一月十二日 十一月廿日 十一月廿三日　釜山發　門司より釜山各港寄港雜貨附航路

○穩城丸　○昌平丸　○鏡城丸　十一月七日 十一月十日 十一月十一日　元山發　元山より各港經由雄基行

○第二鎭旗丸　○忠淸丸　○平壤丸　十一月七日 十一月七日 十一月十三日　元山發　城津淸津雄基浦鹽行（復航釜山より門司又は長崎行）

○益德丸　十一月十日　釜山發　甘浦九龍浦浦項各港寄港鬱陵島行

○江陵丸　○襄陽丸　毎日　釜山 浦項發　長生浦方魚津寄港

○三浦丸　十一月　釜山發　長承浦、巨文島、濟州島各寄港

○海州丸　○統營丸　毎日　釜山發　各港經由麗水行　○巨濟丸 ○慶寶丸（三日目一回水浦行）

○順天丸　三日目毎ニ　木浦發　各港經由麗水より釜山行に接續

○慶興丸　十一月 日　木浦發　各港經由濟州島行西廻

○慶興丸　十一月十二日　木浦發　南多島、濟州島行（月三回）

○公州丸　十一月六日　木浦發　各港經由濟州島行（東廻）

○宗信丸　十一月十日　仁川發　海州他各港經由、鎭南浦又は白翎島行

○江原丸　十一月七日　仁川發　青島、大連、芝罘行

○麗水丸　○晋州丸　十一月十一日 十一月七日　仁川發　各港經由木浦行

○全州丸　○南陽丸　毎日午前　仁川發　江華島、喬桐島、海州行

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行　第十共同丸　十一月五日入港 十一月七日正午出港　關東都督府命令航路

朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱ひ大連にては青島行定期船接續荷客通し輸送取扱可仕候

阿波共同汽船株式會社

仁川代理店 本町四丁目（電話一七三番） 野口商會

元山代理店 春日町（電話二四七番） 田口回漕部

京城取次店 南大門（電話二六八・二〇七） 河村運送店

大阪商船仁川出帆

○外航路所屬航路は[illegible]連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神阪行　安東丸 十一月十一日 後五時出　×漳州丸 十一月廿日　天智丸 十一月十五日 後五時出

○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行　信濃川丸 十一月九日 後二時出

○群山、釜山、横濱行　福州丸 十一月廿八日 後二時出

○木浦、釜山、關門、神戸、大阪行　潮州丸 十一月十八日　京州丸 十一月八日 正午時出

○釜山、横濱行　須磨丸 十一月十五日 正午出帆

○鎭南浦、大連行　信濃川丸 信濃丸 十一月廿日 十一月八日 後二時出

大連直行　福州丸 十一月廿二日 正午出帆

○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行　潮州丸 十一月十五日 正午出帆

○淸津、浦潮行（元山出帆）仁川〜城津西湖津ニ寄港 浦潮不寄港　△安平丸 宮島丸 十一月十五日 十一月廿一日 後二時出

○上海、基隆、打狗行（大連出帆）　基隆丸 湖北丸 十一月廿九日 十一月十三日 前六時出 後四時出

御注意　●朝鮮鐵道及び南滿州鐵道各驛との連絡 ×印は船客のみ △印は貨物のみ

切符發賣所　京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　内國通運會社